

協働ワーキング 発表用スライド

高齢者を地域で支える仕組みづくり

- | | | | |
|---------------|-----|---|----|
| 1 . 高齢者 チーム | ... | P | 2 |
| 2 . 高齢者第2グループ | ... | P | 26 |

子どもの成長を地域で支える仕組みづくり

- | | | | |
|------------------|-----|---|----|
| 1 . 切れ目ない チーム | ... | P | 46 |
| 2 . くるキッズ チーム | ... | P | 54 |
| 3 . チーム Child | ... | P | 72 |
| 4 . 皆の力をかりよう チーム | ... | P | 80 |

市民参画による久留米市の魅力発信の仕組みづくり

- | | | | |
|-----------------------|-----|---|-----|
| 1 . ちゃりんこレンジャー チーム | ... | P | 87 |
| 2 . マーガレット チーム | ... | P | 110 |
| 3 . 多様な主体が魅力を発信する チーム | ... | P | 118 |



高齢者のふれあい交流支援

ぶらりよってこ カフェ プロジェクト



高齢者①グループ

リーダー：保坂昌孝

綾戸麗子・江上憲一・芹田隆子・辻摩夕実

松田眞由美・野田国広・河原菊子

現状・問題点①

地域の身近な所で交流する場がない

気軽にふらっと
立ち寄れる
場所があれば
行くけど



自宅から
遠いサロンは
行きたくない・・・

現状・問題点②

支援するボランティアや担い手が少ない
支援する側の負担が大きい

若い担い手が
いない！
高齢者が高齢者を
支援している



1人何役も
こなしているのが
現状！

成り手がいない。
もう何年も
なんとか頑張っている

現状・問題点③

呼びかけても交流に参加されない方や
参加したくてもできない方がいる



行きたいけど・・・
足が不自由で
お迎えがあればなあ

1人で気楽に
過ごしたいから
サロンには行かないわ



目指す姿

高齢者が身近な場所で
ふれあい交流することで、

住み慣れた地域において
安心・安全に暮らすことができる。



<提案する取り組み>

高齢者の交流の場の設置



ぶらりよっぴか



ぶらり よってこ カフェ とは？

自宅から歩いて行ける
高齢者が気軽に集える場所



ぶらり よってこ カフェ プロジェクト 3つの取り組み

支え合いの
地域づくり

気軽に集まれる
場所づくり



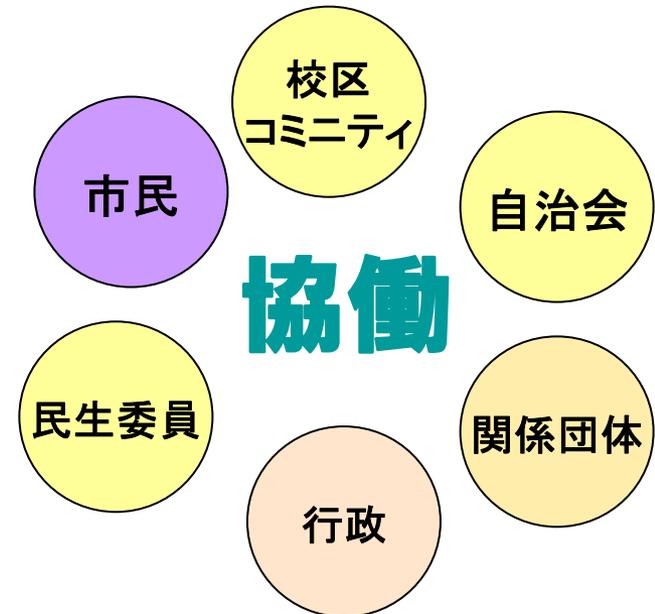
高齢者を支える
人財を育む

取り組み①



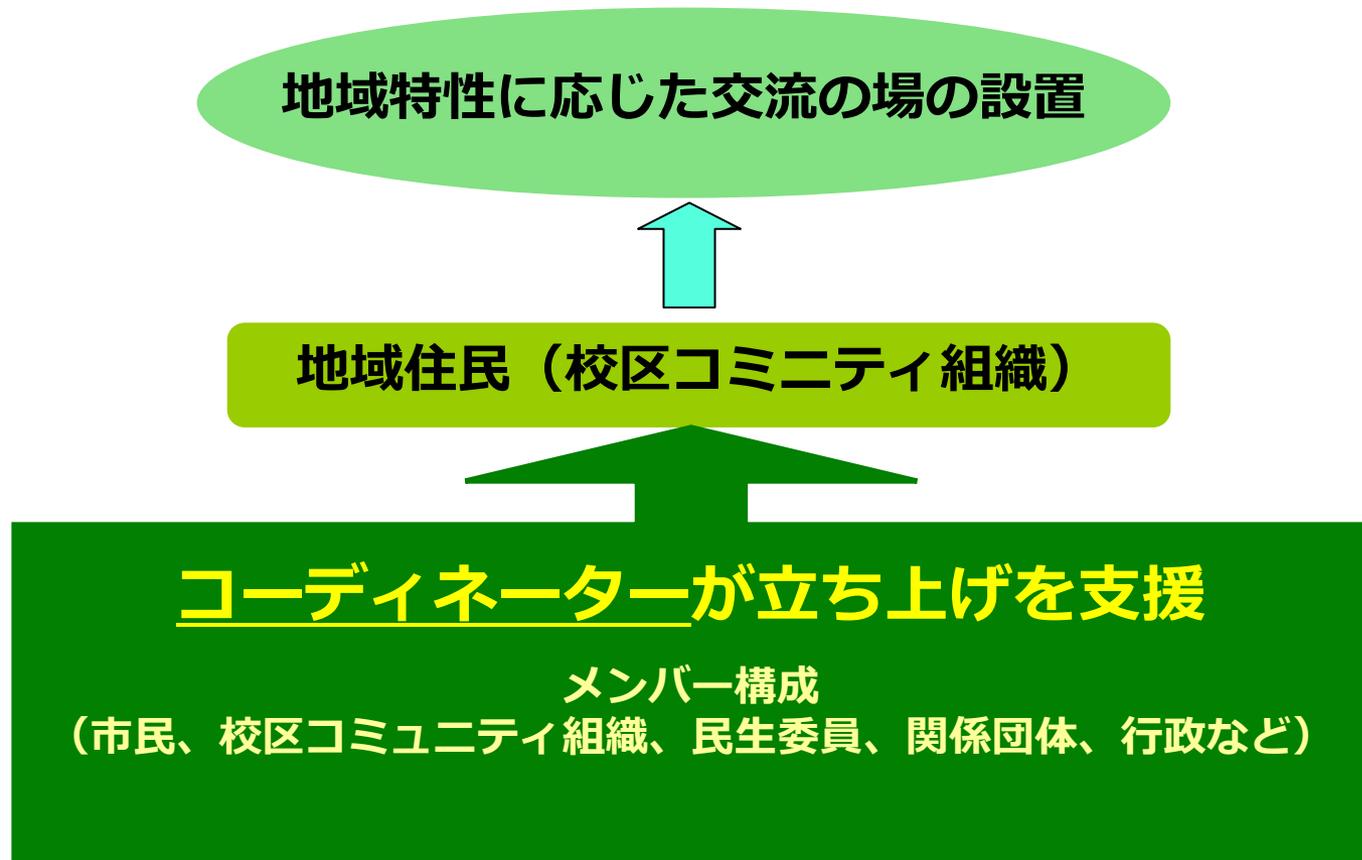
支え合いの地域づくり

市民・校区コミュニティ組織・民生委員・自治会
関係団体・行政が**協働**し、地域で互いに支え合い、
地域特性に応じた交流の場作りを
支える体制の構築を目指します！



1、ふれあい交流コーディネーターの設置

交流の場の設置に向け、立ち上げや運営などのサポートを実施



2、モデル校区の設置

プロジェクトに賛同していただけるモデル校区を選出。

プロジェクトの説明実施後、モデル校区を募集

趣旨に賛同した校区が応募

モデル校区の選出
(高齢化率の高い校区、住民間交流が希薄化している校区など)

コーディネーターの支援を受け、交流の場の設置

取り組み②



気軽に集まれる場所づくり

身近な地域の中に、誰もが気軽に参加できる場を作り、
高齢者だけでなく世代間交流も含めた、
地域のつながりや**絆が育まれる場づくり**を
目指します！

各自治区
1箇所



1、地域資源の発掘及び利用促進

地域にある空き家や自治公民館、介護施設や企業施設、空き店舗等
ぶらりと立ち寄れる交流の場として活用できる資源を発掘し
その利活用を図ります。

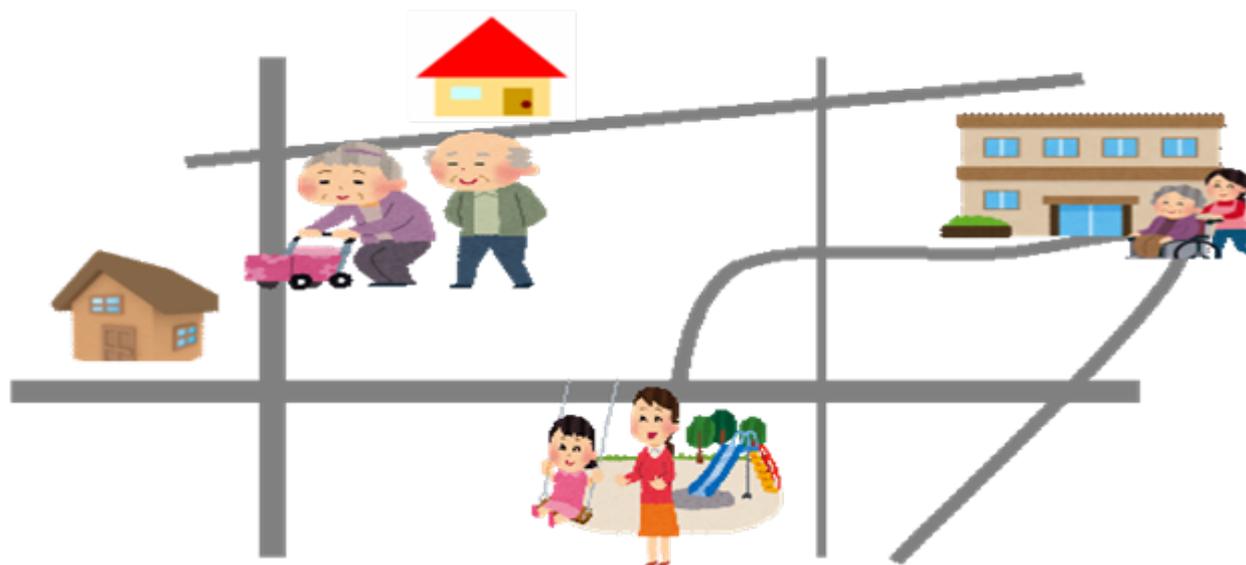


地域にある資源を発掘

利活用を図り、地域を活性化！

2、ふれあいマップの作成

多くの人交流の場（ぶらりよってこカフェ）を利用できる様に、
身近な地域にあるふれあい交流の場を掲載した
地図を作成します。



利活用を図り、地域を活性化

取り組み③



高齢者を支える人財を育む

ボランティア活動に従事する者の
負担感の軽減や活動意欲の促進につなげます。

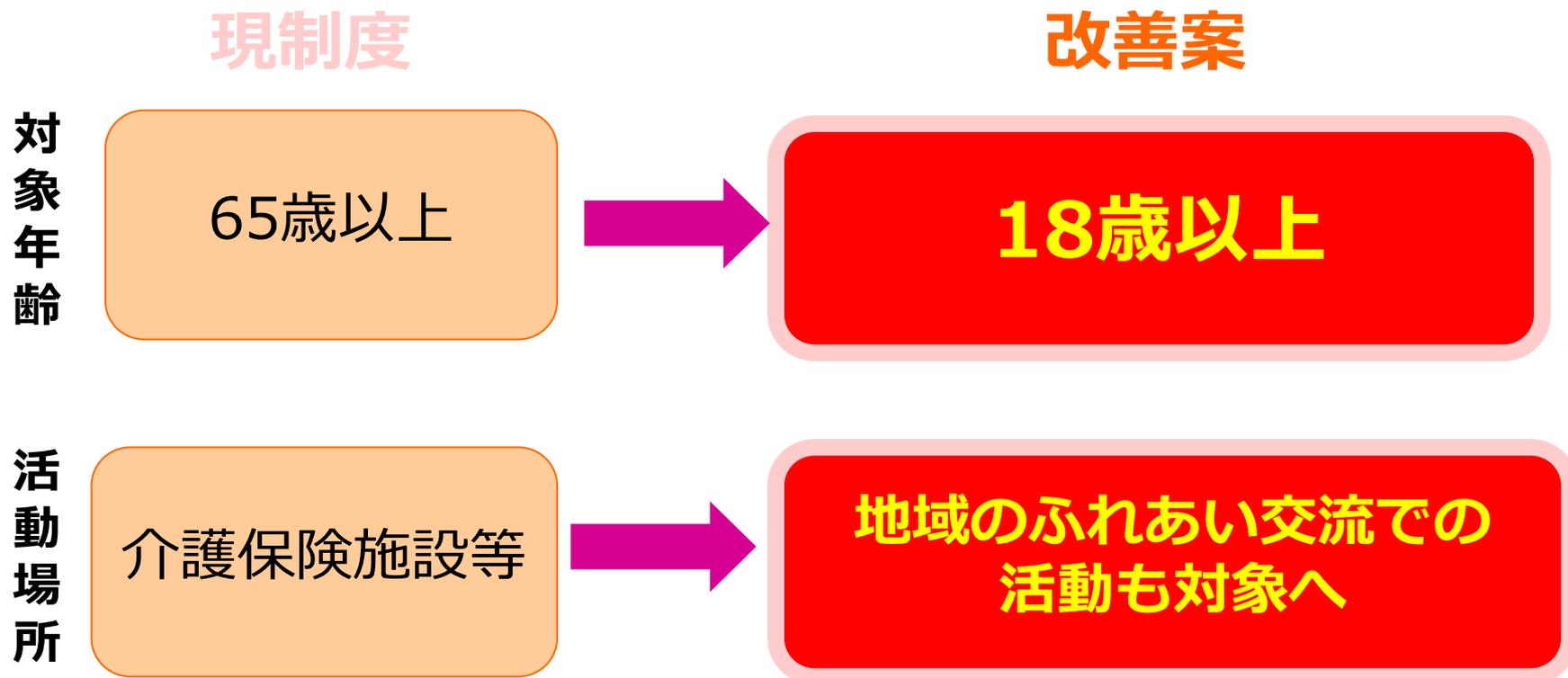


**負担感の軽減
活動意欲の促進**



1、よかよか介護ボランティア制度の見直し

登録された介護施設等でボランティア活動を行うとポイントが貯まる制度の対象を拡大。



2、ボランティアに関する講座の見直し、検討

既存のボランティア養成講座の内容を見直し、
より現実的な活動に繋がるようなプログラムの採用や、
ボランティア体験講座の実施

フォロー講座の開催により、具体的な活動に繋がる仕組みづくり。

活動につながるプログラム

ボランティア体験

フォロー講座の開催

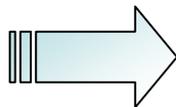


3、多様な人財を活用できる体制の構築

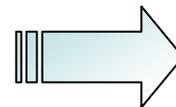
より多くの世代や人財が、高齢者のふれあい交流支援に主体的に自由に参加できるしくみ作り。

地域住民間のふれあいやつながりを深め、地域の活力向上につなげる

ふれあい交流支援



地域の絆



地域の活力向上

市民・関係団体・行政
役割分担



住民の声を
伝える

活用できる
資源を発掘

参加の
声かけ

市民の役割

ボランティア
活動へ参加

補助金の
活用

受益者負担
1回500円以内





課題検討
組織立ち上げ

地域の声
集約

関係団体等の役割

施設や人財
提供

ふれあいマップ
作成

サロンでの
声かけ

人財育成ノウハウ
資料作成

空き家利用
助成や支援



よかよか介護
ボランティア
制度拡充

行政

地域組織へ
説明会

連絡協議会
設置

コーディネーター
養成





「ぶらり よってこ カフェ」は

誰でも気軽に参加できる
交流の場

人々のつながりや絆を深め
互いをおもいやり・支え合う

安心・安全な地域づくりです

ご清聴ありがとうございました



協働ワーキング提案の概要

高齢者第2グループ

堀口 敏憲、古賀信夫、坂田拓真、最所 崇、
江頭敏夫、松本忍み子、一ノ瀬イツミ、菊池晋兵

ワーキングテーマ：

高齢者の日常生活を地域で支える仕組みづくり

提案する取り組みは2事業

- 1、高齢者（60歳以上の単身生活者）と校区コミュニティ組織・自治会・民生委員等との交流イベントの実施**
- 2、久留米市高齢者おたすけインターンシップ制度**

提案事業

高齢者（60歳以上の単身生活者）と校区コミュニティ組織・自治会・民生委員等との交流イベントの実施

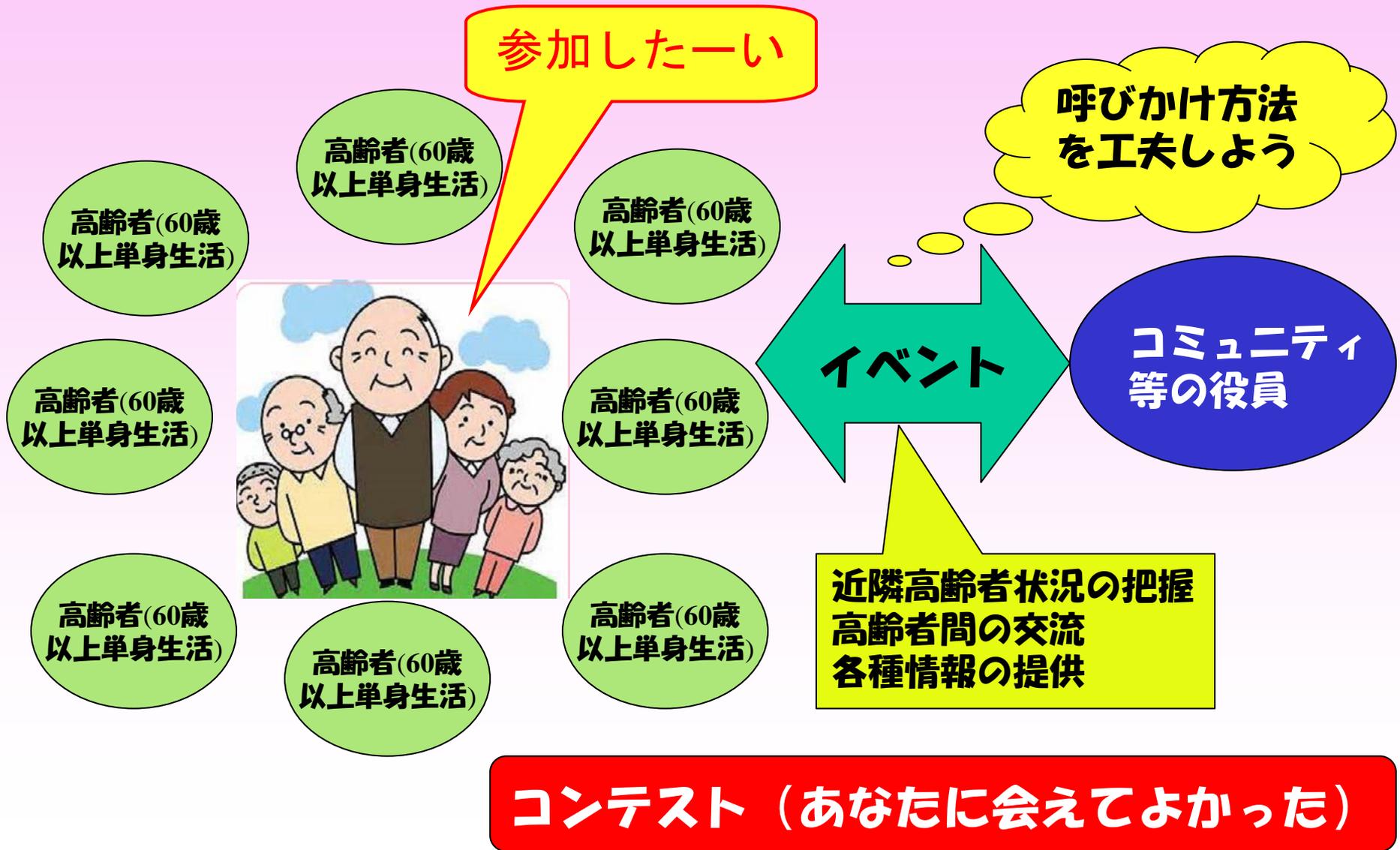
現状・ 問題点

- ・ 高齢者のいる世帯は増加傾向にあり、その中でも一人暮らし高齢者世帯は、そのうちの約4分の1の割合で近年は推移している。
- ・ 一人暮らしの高齢者の中には、自分の住んでいる地域で過ごす時間が多いものの、地域の方々と知り合う機会が少ないため、人生で培った知識・経験などを発揮がなく、また、地域の中で支え合う場が少ないと感じている方々も多い。
- ・ 行政・社会福祉協議会・地域包括支援センター・保健所・警察・消防・民生委員・校区コミュニティ組織・自治会・市民公益活動団体・事業所等が活動し、高齢者の生活を支えるために尽力している。しかし、これらの活動が対象者の参画意識及び情報量の不足から十分な成果が得られず、上記の課題解消につながっていない面もある。

目指す 姿・状況

一人暮らしの高齢者が地域の活動に参加し、仲間とともに地域を支え合って日常生活をしている。

① 高齢者（60歳以上の単身生活者）とコミュニティ組織・自治会・民生委員等との交流イベントの実施。



市民(60歳以上の単身生活者)(啓発)

- ・主催者への協力(積極的に参加をして行政への協力)
- ・主催者との交流により、生活に必要な情報(健康づくり、生活支援団体、相談先、安全、医療・介護等)を積極的に収集する。
- ・主催者及び参加者と積極的に交流を図り、イベント後における自主的な地域活動や交流につなげる。

関係団体等

1 校区コミュニティ組織等

- ・交流イベントの企画・運営を行う。
- ・交流イベントの意義について参加者が十分に理解するための事前説明会の実施。
- ・地域で活動する地域コミュニティ等の役員、自治会役員・民生委員、ふれあいの会・老人クラブ、関係諸団体の関係者等の参加と協力を呼びかける。
 - ・地域内広報にあたっては、個別パンフの配布、個別訪問の繰り返し等により、通常以上の広報を行う。
- ・きっかけづくりコンテスト(あなたに出会えてよかった)への参加。

2 久留米市校区まちづくり連絡協議会

- ・きっかけづくりコンテスト(あなたに出会えてよかった)の開催

行政

- ・ 財政的支援を行う
- ・ 交流イベント支援の対象は校区コミュにティとし、対象者の人員数により、イベント実施は各自治会単位も支援可能とする。
- ・ 交流イベント支援の開示にあたっては、趣旨説明を十分行う。
- ・ 交流イベント広報支援。

提案事業

久留米市高齢者活動支援インターンシップ制度

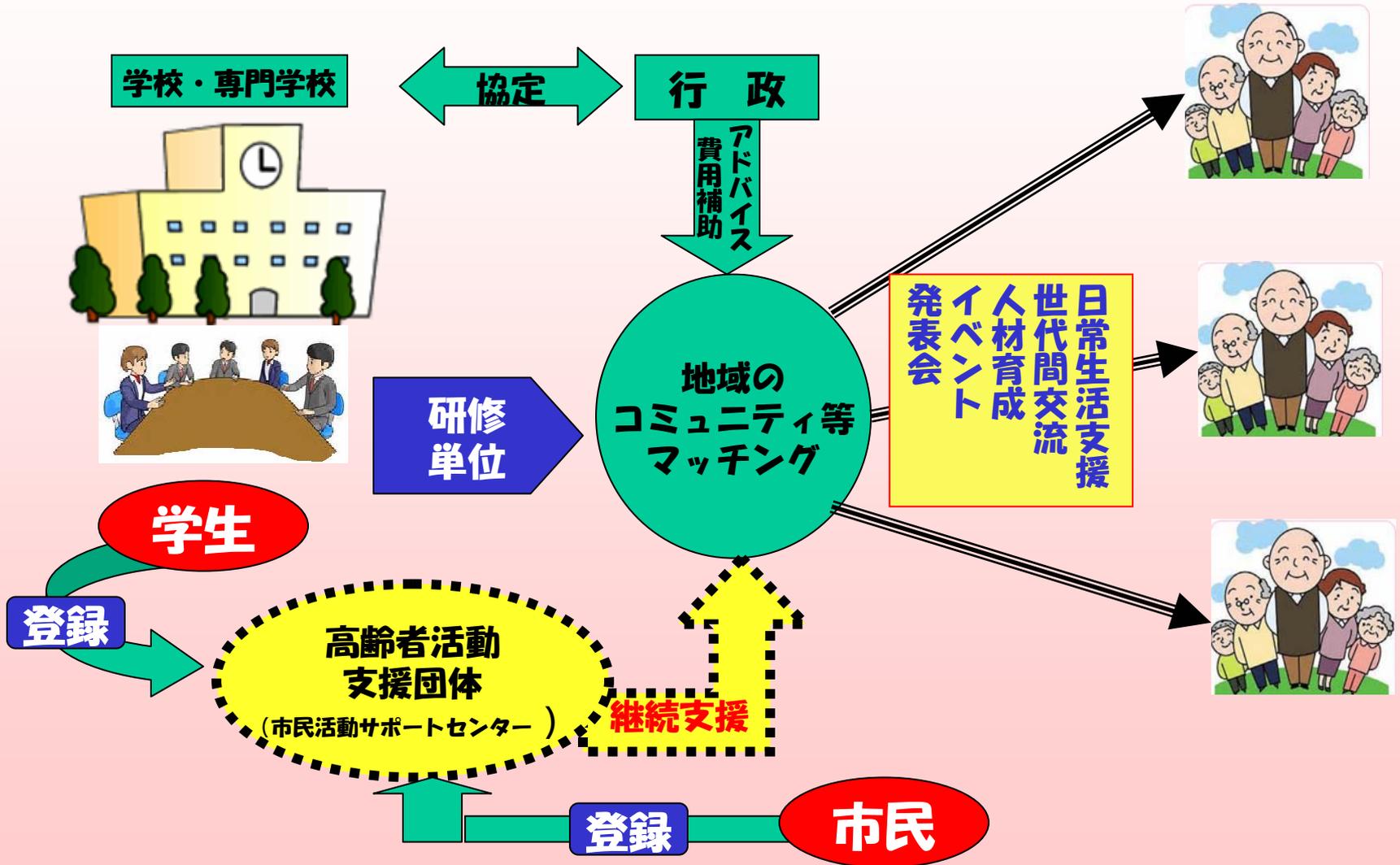
現状・ 問題点

加齢に伴う体力の低下等の要因のほか、高齢者の単身世帯や夫婦世帯及び高齢者のみの世帯の増加、近所づきあいの希薄化などにより、「食事の準備」や「掃除」などの日常生活上必要な作業が困難な場合に、頼ることのできる相手がいない等のケースが増えている。

目指す 姿・状況

- ・ 高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して生活できる。
- ・ 学生を担い手とした高齢者の日常生活支援の実施
- ・ 世代間交流による相互理解を深め、多様な世代にとって住みやすい地域づくりの実現
- ・ 学生の地域活動への参加促進による地域の活性化

②久留米市高齢者おたすけインターンシップ制度



関係機関①（校区・自治会・民生委員）

- ・ 支援を必要とする高齢者の選定
- ・ 受け入れ時の見守り・助言
- ・ 学生と職務遂行（民生委員）
- ・ 受け入れ後の見守り等の地域活動の見直し・実施

関係機関②（教育機関（大学））

- ・ 講座内容の検討→講座開講→成果発表会開催→単位の授与
- ・ 行政との協定締結
- ・ 受け入れ時の見守り・助言

行政

- ・ 制度設計（関係機関①との調整含む）
- ・ 教育機関との協定締結
- ・ 地域への説明、高齢者と学生のマッチング
- ・ 地域の受け入れに関する支援
- ・ 受け入れ時の見守り・助言
- ・ ハピエンの運営

市民（学生以外）

- ・ ハピエン（高齢者活動支援団体）への登録
- ・ 高齢者支援活動

1. 背景・目的

高齢者は、身体的な理由や地域との交流の希薄化等により、健康で充実した生活を送れない状況や地域活動に支障をきたす状況に置かれるなど、日常生活の様々な場面において支援が必要となることがある。こうした中で、現在でも多様な手段により、そのような高齢者を支援している個人や団体はあるものの、十分な支援につながらないケースも多く見られる。

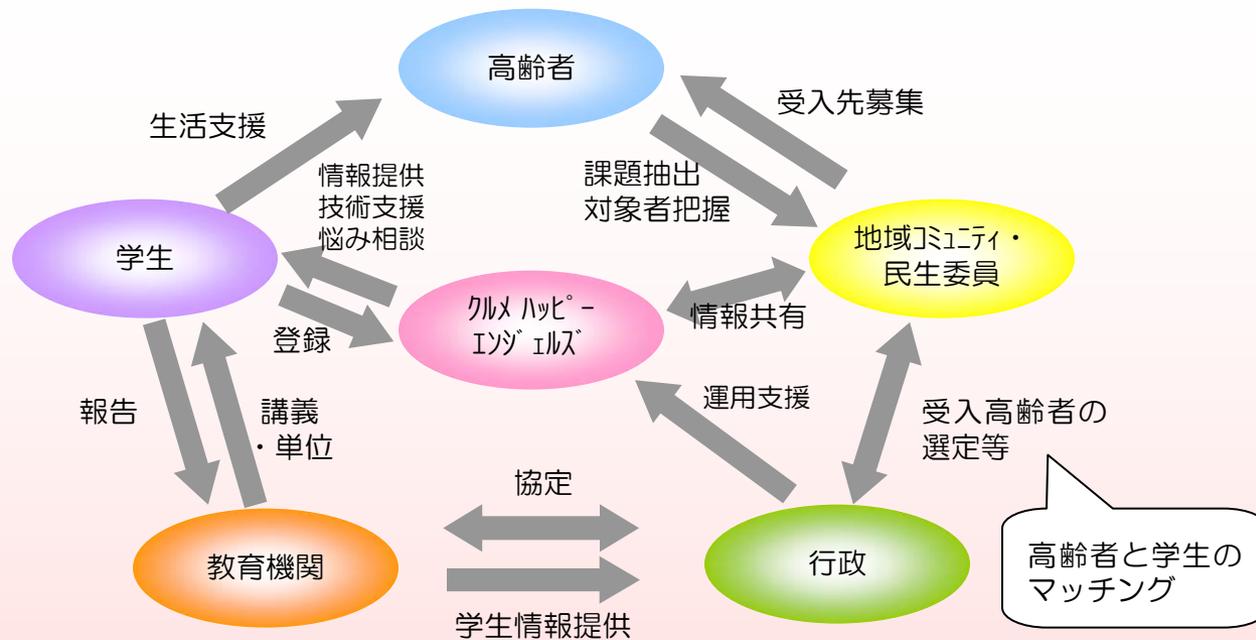
そこで、これから社会の中で中心的に活動する若者（今回は大学生、短大生、専門学校生、高専生、高校生を想定）を新たな支援の担い手として位置づけ、彼らが実際に地域に入り、高齢者と共に生活して生の生活支援活動を行うことで、上記課題を解決に寄与することを目的とする。

2. 期待される効果

高齢者の日常生活支援を図るとともに、これから社会で活動する若者の貴重な経験として蓄積され、今後の市民活動の活性化・促進を図る。また、若者と高齢者をはじめとする地域との交流がなされることで、地域の活力を創出することが期待される。

さらに、高齢者の日常生活において困難となりがちな事柄やその要因、それらに対する効果的な支援・解決策について教育機関において研究・検証し、データ・知識を蓄積し多方面へ教授していくことが期待される。

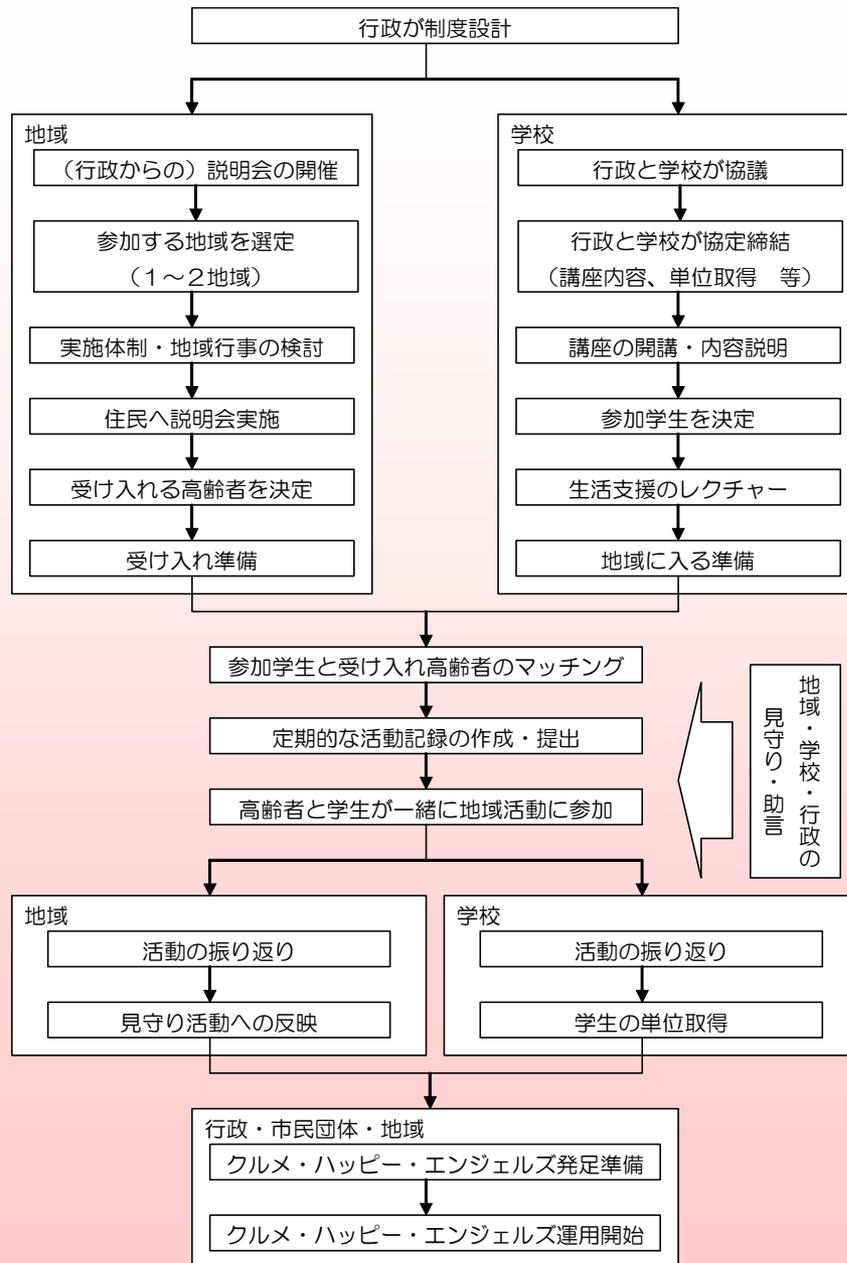
3. 主体間の関係



4. 取り組みポイント

- ・ 学生が高齢者宅等にて日常生活の支援を実施
- ・ 学生と高齢者が地域活動に参加
- ・ 学校は学生に単位を付与
- ・ 学生の高齢者の日常生活支援をはじめとする市民活動の受け皿となる組織の運用

5. 取り組みの流れ



6. 取り組みの内容

(1) 高齢者の日常生活の支援

目的	高齢者への支援を体験することで、学生が高齢者への理解を深め、実践的な技術を修得する。	
支援日	対象期間のなかで平日を基本とし、地域のイベント時は休日も実施	
支援時間	9時～17時を目安に、具体は当事者同士で調整	
支援場所	高齢者の自宅および自宅周辺	
活動費	学生の交通費、食費、物品購入費等の支援活動に伴う費用は要検討	
対象者	学生	久留米市と協定を締結する教育機関の学生を対象とする。ただし、高齢者福祉や地域活動に興味のある学生（学科、専攻は限定しない）の参加を想定しているが、当初は専門的に学習している学生を対象として開始することも有用である。
	高齢者	日常生活での支援を必要とする自治会に加入している高齢者を対象とする。支援の必要性の目安として、介護状態区分の要支援1、要支援2、要介護1を想定している。
支援内容	高齢者の日常生活の介助を行う。 ※あくまで活動主体は高齢者であり、学生はお手伝いさんではない ※教育機関・地域・行政が技術面や精神面等を全面的に即応できるよう体制の構築が必要 ※支援例：買い物に同行、階段昇降時の支え、届かないところのものを取る、一緒に草むしり、一緒に掃除、ゴミ出し…	

(2) 地域活動への参加

目的	地域のイベントに参加することで、学生が地域とのつながりを身近に感じ、地域活動への参加のきっかけづくりとする。
支援日	地域のイベント日（休日については当事者同士で調整）
支援時間	イベント開催時間による。なお、当事者が主体となるイベントの場合はその準備から学生が参加することも可能
支援場所	地域のイベント会場および高齢者の自宅
活動費	要検討
支援内容	①地域が開催する文化祭やスポーツ大会、清掃活動へ高齢者が学生と一緒に参加する。可能であれば学生は企画から参画する。 ②地域住民が運用している趣味のグループへ高齢者が学生と一緒に参加する。可能であれば学生が企画して実施する。

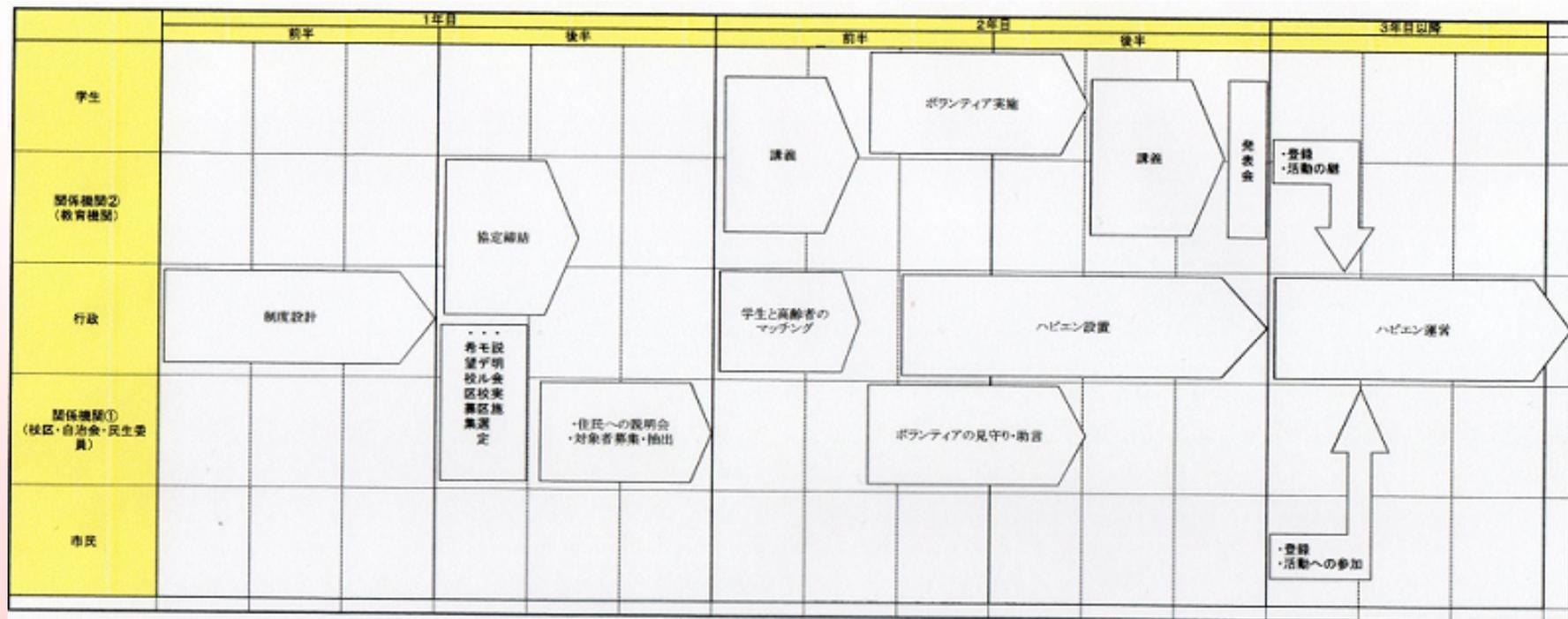
(3) 教育機関での講座開講

目的	支援が必要な高齢者の行動と効果的な支援策を学術的に検証する。	
開講期間	通年（事前学習⇒実践⇒振り返り⇒成果発表）	
講座時間	90分/回	
会場	講座	教育機関
	成果発表会	くるめシティプラザ
支援内容	①高齢者の支援に関する講義を実施し、受講者の一定程度の知識と技術を修得させる。 ②更なる技術の向上を図るため、実践結果をフィードバックして問題点や課題、対応策を検討 ③とりまとめた成果を学外で発表	
条件	教育機関の講座とするため、行政と教育機関による協定を締結する。 ⇒受講生は単位を取得可能	

(4) クルメ・ハッピー・エンジェルズの運用

目的	インターンシップに参加した学生のインターンシップ後の活動促進、およびそれ以外の若者の高齢者への支援活動の促進を図る。
活動期間	通年
活動時間	9時～17時
活動場所	事務局（久留米市市民活動サポートセンターを想定）
支援内容	<p>①高齢者支援に関する活動の受け皿となる団体（クルメ・ハッピー・エンジェルズ [略称：ハピエン]）を立ち上げ</p> <p>②ハピエンに登録したインターンシップ後の学生や、高齢者支援活動をしたいと考えている若者に対し、情報提供、技術支援、活動費支援、悩み相談等を行い、高齢者支援活動を支援する。</p> <p>③地域からの高齢者支援や地域活動等に関する応援要請も受ける。</p> <p>④市内外における災害時には避難所等へのボランティア活動への協力にも対応する。</p>

7. スケジュール



8. 各主体の役割

行政	教育機関	地域
<ul style="list-style-type: none">• 制度設計• 教育機関と講座について協議 ⇒協定締結• 地域への説明 ⇒学生とのマッチング• 地域の受け入れ支援• 受け入れ時の見守り・助言• ハピエンの運営	<ul style="list-style-type: none">• 講座の内容の検討• 行政と講座について協議 ⇒協定締結• 受け入れ時の見守り・助言• 講義の開催• 成果発表会の開催	<ul style="list-style-type: none">• 受け入れる高齢者の選定• 受け入れ準備• 受け入れ時の見守り・助言• 受け入れ後の見守り等の地域活動の検討・実施

9. 今後の展開

久留米市以外の学生も巻き込むことで、久留米市のPRや久留米市での定住促進にも繋がるような展開も期待したい。

提案する取り組みは2事業

- 1、高齢者（60歳以上の単身生活者）と校区コミュニティ組織・自治会・民生委員等との交流イベントの実施**
- 2、久留米市高齢者おたすけインターンシップ制度**

終わり

市民・関係団体等・行政の健闘を期待いたします

乳幼児の 子育てを支える



～切れ目ない子育て支援の
体制づくり～

現状・問題点

- マタニティ期は行政からの支援は充実しているが、妊婦同志の交流が生まれるような場は少ない（支援センターなどの子育て支援施設は子連れでないと行きにくい）
- 子育て支援情報が必要な人に届いていない。情報の一元化がされていない
- 保育園などの入園手続きに関する情報を知らない人が多い（希望する保育園に入れない、希望の入園時期に空きがない等）
- 社会環境の変化による多世代交流の減少、子育て知識の継承の困難化
- 発達障害を持つ親子へのサポート体制や、社会の理解が乏しい



達成を目指す姿・状況

1、子育てに関わる人を増やし、
子育て支援に対する
意識の醸成を進める

2、妊娠中・子育て中の親子が
子育て支援情報を知り、
必要な支援を受けながら
安心して子育てができる



1、子育てに関わる人を増やし、 子育て支援に対する意識の醸成を進める

『子育てお助けボランティア』の活用

- 子育て支援に関するボランティアを幅広く募り、保育園や子育て支援関係の施設、イベントなどでの活動を行う。
(ボランティアコーディネート機関の立ち上げ、
子育てボランティアコーディネーターの養成)
- 企業や学校などに、所有バスを保育園児の送迎サービスなどに利用できるように協力を呼びかける。





子育てお助けボランティア組織

ボランティア活動をするために必要な研修を
活動希望者が受講しやすい日程で開催。
(夜間、土日なども検討)

「研修受講回数」＋「ボランティア活動
回数」で段階を作ってボランティアに参
加。
星の数で活動内容が広がる！
(活動の楽しさを広げるための☆制度)

子育てボランティア
コーディネーターへ！

1ツ星！



2ツ星！



3ツ星！



組織の中でボランティア
を育成、活動を正しく評
価(良い所を高く!)し、
温かい目で見守れる存在

- ・支援が切れ目なく続く仕組み作り
(組織内での活動のつながりを)
- ・責任感を持って活動出来る人の育成
(広い視点で活動できる人の育成)

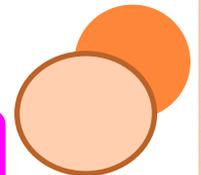
ボランティア
コーディネーター
機関(子育てに
関係する
団体)

活動歴は活動カードで管理(ボランティアの内容や日時を記録)
報酬は活動に応じて、お茶などの物品や交通費など様々

「有償ボランティア」
という認識の一般化
を！

ボランティア活動希望者の把握、ボランティア活動の受け皿となる場所や内容、時間帯の整理。
ボランティア研修の実施、ボランティアの登録、活動のコーディネートなど...

関係団体等でのボランティア活動の受け皿作り(幼稚園、保育園、子育て支援施設などでのサポート
活動)、企業を含めたPRも検討。



2、妊娠中・子育て中の親子が子育て支援情報を知り、必要な支援を受けながら安心して子育てができる

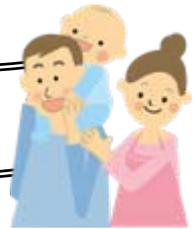
子育て世代交流ネットワークの構築

- 久留米市で開催されているイベントなど「マタニティフェア」を同時開催し、出産予定日が同じ時期のプレママ同士での交流やグループトーク、先輩プレママや保健師等による相談、幼稚園や保育園の情報コーナー、発達障害などに関する相談ブース、子育てグッズお試しコーナーなどを設定する。
- プレママが地域ごとに集まって交流できる拠点作り
- 父子手帳（父親向け子育て支援冊子）の配布





子育て世代交流ネットワークの構築



プレママパパを
子育て仲間とつなげ
ていく機会にしよう

マタニティフェア実施 (久留米市で開催されているイベントで同時開催)

プレママパパ同士でのグループトーク、先輩ママパパや保健師等による相談、幼稚園保育園情報コーナー、発達障害等に関する相談ブース、子育てグッズお試しコーナーなど...
(ボランティア団体主催で関係団体や企業と協力して開催)
長く続くような仕組みで、親子で楽しめるイベントを!

父子手帳(父親向け子育て支援冊子)配布

父親の子育ての出番が増えるような啓発、母子手帳と一緒に配布し、子育てへの意識を高める夫婦間での子育て情報の共有化の推進



パパ寄りの子育て視点での編集、パパの継続した育児参加のきっかけとなるように!

- ★マタニティカフェ、プレママ交流会開催用マニュアルの検討
(見て分かりやすい形で、交流会ルールの図式化)
- ★主任児童委員の充実
(校区配置人数の検討)



子育てお助け ボランティアの活用

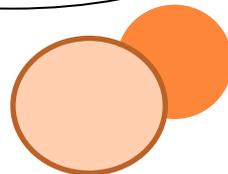


プレママが地域ごとに集まって交流できる 拠点作り

保健所プレママ向け事業終了後にプレママパパ同士の交流が深まるような場の提供
(マタニティカフェの開催)
地域、ボランティア、行政の協働で校区コミュニティセンターや公共施設などでの交流会を開催



「話せて良かった」
「友だちが出来た」
「気持ちに余裕が持てた」
フリートークやアドバイスでホッと一息つける場に



子どもの成長を地域で支える仕組みづくり



○Member

速水 麻友子

佐藤 佐和香

田中 崇

権藤 敏博

尾花 清美

河野 昌枝



「放課後の居場所づくり」



くるキッズ



2014.10.11

現状と問題点

核家族

共働き

孤立化

現状と問題点

遊び場所がない！？

居場所がない！？



放課後の居場所



~~学校~~

~~公園~~

~~公民館~~

学校のグラウンドや体育館は？

- ・少年団などクラブ活動
- ・保護者会 (PTA) 活動

地域、個人の積極的利用あり

地域コミュニティセンターは？

- ・サークル活動、習い事
- ・地域の会議や集会

その他、自由な出入りはできない

近隣の公園や空き地は？

- 不審者の出没
- 道路に面した公園

保護者の立場で考えても困難

達成を目指す姿・状況

異学年で

ふれあう

集団で

楽しむ

提案する取り組み



学校内での

放課後活動！

学校内とは、どこ？

- 余裕教室
- 体育館
- グラウンド



なぜ学校内なのか？

- 学校からの移動不要
 - ⇒ 送迎不要
 - ⇒ 運営側の手間が省ける

見守る人は？

活動支援者



保護者

団塊世代

学生

行政の役割

- コーディネーターの養成
- 「活動の見守り隊員」を募集
- 学校長との交渉（施設開放）

関係団体の役割

- 活動の専門家として助言
- 安全管理や運営方法の助言

市民の役割

- ボランティアとして参加
- 話し合いに参加する

まとめると・・・

- 平日の放課後
- 学校内（プレイルームなど）を活用
- 地域の支援者を募る

安全で安心な居場所

子ども達の笑顔のため！





くらぼ
くらぼくらぼくらぼ

ご清聴

ありがとうございました

テーマ

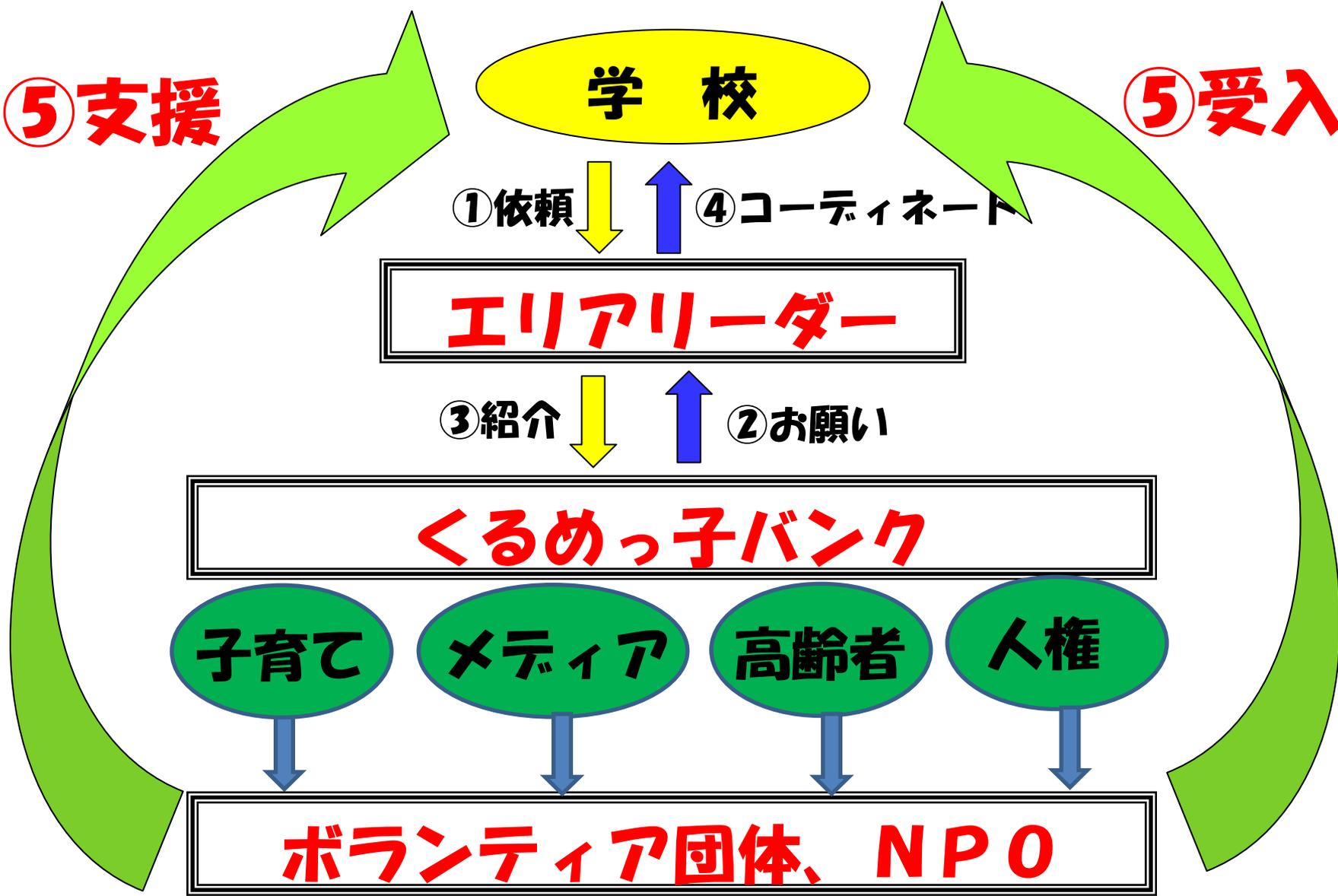
子育てに関わる人を増やす

くるめっ子サポーター事業

チームChild

平成26年10月11日

「くるめっ子サポーター事業」のイメージ



⑤支援

学校

⑤受入

①依頼 ↓ ↑ ④コーディネート

エリアリーダー

③紹介 ↓ ↑ ②お願い

くるめっ子バンク

子育て メディア 高齢者 人権

ボランティア団体、NPO

*事前打合せ；6月6日（金）17：00 大橋小学校；永松教務主任

→ 最終打ち合わせ；6月26日（木）16：30 大橋小学校済み（永松先生、江上、空閑、岩井、池上）

- ・日時；7月9日（水）14：20～15：40《集合；13：00》
- ・会場；大橋小学校；体育館
- ・対象；4年生；15名、5年生；20名、6年生；10名の生徒（45名）＋教職員；13名＋保護者；40名＋地域の方々＝（45名＋13名＋40名＋30名＝128名）予定
- ・担当；久留米市キャラバン・メイト連絡会の皆さん ほか

進行表； 時間微調整が、まだ必要です。（6/26調整済）

司会進行；永松 先生

予定	時間(分)	具体的な内容	備考
集合； 13：50 →	13：00 へ	集合場所；大橋小学校／体育館	外部関係者
14：20～14：25	5	・開講の挨拶	雄野 校長先生
14：25～14：30	5	・自己紹介・オリエンテーション	全員、江上
14：30～14：35	5	・資料配布；テキスト《小学生用》《大人用》	全員
14：35～14：50	15	・寸劇「認知症のおじいちゃん」子供5年生	寸劇チーム
14：50～15：10	20	・認知症について	CM；（中村）
15：10～15：15	5	休憩＜トイレのみ＞	
15：15～15：25	10	・DVD上映（認知症の方への対応3例）	学校
15：25～15：35	10→15分へ？	・まとめ；質問の投げ掛け方を工夫する	永松 学級担任
15：35～15：40	5	《大人；アンケート依頼の事》 ・生徒は、感想の記入（教室で後ほどの案内）	全員
15：40		・閉講の挨拶	江頭教頭先生

*終了後、＜オレンジリング配布＞する

- 役割分担； 受付；人数が多いので、東包括スタッフにも依頼。（受付名簿作成；永松先生）
- ・資料；（作成及びセット）（小学生用テキスト・アンケート・進行表／コピー；三原）
- ・講師； CM（キャラバン・メイト） ・参加募集は、保護者、地域の方々へおこなう
- ・DVDセット；大橋小学校 ・模造紙による「式次第表」作成（永松先生）
- ・資料配布；＜テキスト（先生分は小学生用）、オレンジリング（S&M）など＞
- ・寸劇；寸劇チーム（山田リーダー・糸永ほか） ・アンケート回収箱
- ・ビデオ機器／撮影なし
- ・報道関係；（西日本など案内？）特に、無し。・PTA；久留米市立大橋小学校PTA（石原会長）
- ・地域の方々；大橋まちづくり委員会（秋永会長） ・大橋校区社会福祉協議会（井上 会長）
- ・運営；久留米市社会福祉協議会（三原）／キャラバン・メイト連絡会（江上）
- ・その他；・マイク3本あり（プラス東包括から2本借りる） ・生徒は床すわり・駐車場；運動場

*なお、当日 1～3年生／14：20までと、15：50～16：30「4～6年生保護者学級懇談会」が行われる予定

・今後の事；2014年以降継続検討（4～6年生及び保護者、地域の方対象）

エリアリーダー

- ① 適任者
主任児童員
民生委員
コミュニティーセンター事務職員等
- ② 選定基準
大学との公開講座やボランティアを受講した希望者
- ③ 待遇
市の非常勤嘱託職員として雇用契約を結ぶ

大学等の公開講座

幼児教育学科による 「信愛つどいの広場」子育て支援講座

◆第1回 6/7(土) 10:00~11:00 講師：三原信彦

「はじめてのアート(のびのび描こう!)」

受講料：無料 定員：15名 対象年齢：1歳半以上 親子での参加可○
持参するもの：エプロン(大人・子ども)、汚れてもよい服装(大人・子ども)



◆第2回 7/5(土) 10:30~11:30 講師：渡邊由恵

「身近な素材で手作りおもちゃのお弁当をつくろう!」

受講料：無料 定員：15名 対象年齢：2歳以上 親子での参加可○

◆第3回 8/2(土) 10:00~11:00 講師：萩尾ミドリ

「親子で楽しもう!“えほんの読み聞かせ・ふれあい遊び”」

受講料：無料 定員：20名 対象：未就園児 親子での参加可○

◆第4回 8/30(土) 10:00~11:00 講師：萩尾ミドリ

「集団生活の前に①~幼稚園・保育園ってどんなところ～」

受講料：無料 定員：20名 親子での参加不可×



◆第5回 9/13(土) 10:00~11:00 講師：久留米市役所

子ども未来部 子ども育成課

「集団生活の前に②~幼稚園・保育園ってどんなところ～」

受講料：無料 定員：20名 親子での参加不可×

◆第6回 10/25(土) 10:00~11:00 講師：三原信彦

「アルバム作り」

受講料：無料 定員：15名 親子での参加不可×

持参するもの：ご家族の写真など(Lサイズが標準)



◆第7・8回 11/8(土)、11/9(日) 両日 10:00~15:00

「信愛つどいの広場フェスティバル(信愛祭同時開催)」

受講料：無料 定員：制限なし 申込不要 親子での参加可○

◆第9回 11/29(土) 10:00~11:00 講師：池田可奈子

「ことばを育む親子の関わり」

受講料：無料 定員：20名 親子での参加不可×



◆第10回 12/13(土) 10:30~11:30 講師：渡邊由恵

「身近な素材で手作りおもちゃのスイーツをつくろう!」

受講料：無料 定員：15名 対象年齢：2歳以上 親子での参加可○

◆第11回 2/21(土) 10:00~12:00 講師：眞谷智美・高松幸子

「親子クッキング(幼児のおやつ)」

※第12回と同じ内容です。お一人様一回限ります。

受講料：500円 定員：10組(親1名と子1名の10組) 子どもの年齢：3~5歳
持参するもの：エプロン・三角布・手拭きタオル
子ども用(エプロン・三角布・手拭きタオル・上靴)

アレルギー児への対応はしていません。

◆第12回 2/28(土) 10:00~12:00 講師：眞谷智美・高松幸子

「親子クッキング(幼児のおやつ)」

※第11回と同じ内容です。お一人様一回限ります。

受講料：500円 定員：10組(親1名と子1名の10組) 子どもの年齢：3~5歳
持参するもの：エプロン・三角布・手拭きタオル
子ども用(エプロン・三角布・手拭きタオル・上靴)

アレルギー児への対応はしていません。



会場：久留米信愛女学院短期大学(講座当日、会場までの案内掲示あり)

講座開始の15分前に信愛つどいの広場に集合してください。(信愛つどいの広場フェスティバルは除く)

申込締切：各講座の1週間前/託児：各講座先着15名まで(無料)

(但し、信愛つどいの広場フェスティバルは除く)

※託児お申込みの際、お子様のお名前・年齢・性別をお知らせください。

(お子様のお預かりは、原則として6ヶ月以上です。事前にご相談ください。)

ボランティア養成講座

地域子育て支援拠点など 子育てひろばに関わる方のための認定講座 地域子育て支援士二種 養成講座

ひろば全協
初の
認定講座!

地域子育て支援士二種とは?

「地域子育て支援士二種」は、乳幼児とその保護者が集う「地域子育て支援拠点」等に関わる支援者やボランティアなどに求められる基礎的な知識・技術を習得したことをひろば全協が証明する認定資格です。
また、この資格は、地域子育て支援拠点に関わる初任者だけでなく、ボランティアなどの地域の活動者に対する「入門編」としても位置づけています。

受講要件

次の①～④のいずれかにあてはまる方

- ① 地域子育て支援拠点等における活動者
(有給の職員だけでなく継続的なボランティアも含む)
- ② 大学・短大・専門学校等において保育士・社会福祉士・保健師 いずれかの養成課程に在籍する学生。その他、心理学を修める大学の学部・学科に在籍する学生
- ③ 保育士・社会福祉士・保健師のいずれかの資格取得者
- ④ 地域子育て支援拠点等におけるボランティア経験を有する者



認定の流れ

地域子育て支援士二種 養成講座1日受講

認定試験
(講座終了時に実施)

合格

地域子育て支援士二種 資格認定登録



認定証と認定カードを発行

子育て支援コーディネーター養成講座

～利用者支援事業の担い手として～

ご利用ください!

平成26年度から始まる利用者支援事業[※]の従事者には、利用者支援専門職員(仮)という名称が国で検討されており、研修の受講が求められています。そこで、ひろば全協では、地域子育て支援拠点など親子が継続的に利用できる施設で、個別の家庭状況を踏まえた支援のコーディネートをする方を対象とする「子育て支援コーディネーター養成講座」を開発しました。ぜひ、開催をご検討ください。

[※]利用者支援事業:平成27年度から本格実施となる子ども子育て支援新制度における「地域子ども子育て支援事業(13事業)」の一つ。

◆開催に関するお見積りも作成いたします。詳細は下記までお問い合わせください。

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会(ひろば全協)
〒222-0037 横浜市港北区大倉山3-19-18 TEL:045-531-2888/045-546-9970
E-mail: info@kosodatehiroba.com

子育て支援コーディネーターの定義(ひろば全協調査研究より)

子育て家庭が有する課題やその力を包括的に把握、予測したうえで、本人の力や地域資源を生かしながら、個別の家庭状況に応じ、支援策を調整、調達する。あわせて、すべての子育て家庭が子どもを授かり、子どもを育てることを開始した時から、社会的に包摂される仕組みを地域の中につくることを指向し、より包括的、予防的にコーディネートする役割を担う。

●子育て支援コーディネーターの対象



子育て支援コーディネーター養成講座

養成講座
の流れ

修了証書発行

フォローアップ講座

[※]翌年以降、フォローアップ講座の案内がきます。

所要時間:約7時間

講座内容

・講義:「子育て支援コーディネーターの役割と期待される力量」
・ワーク: 具体的な事例に基づくワーク

受講料:25,000円(税込)/1名

最少催行人員:15名



子育て支援コーディネーターの役割と位置づけ付録集
(子育てひろば全国連絡協議会編集 2012年)

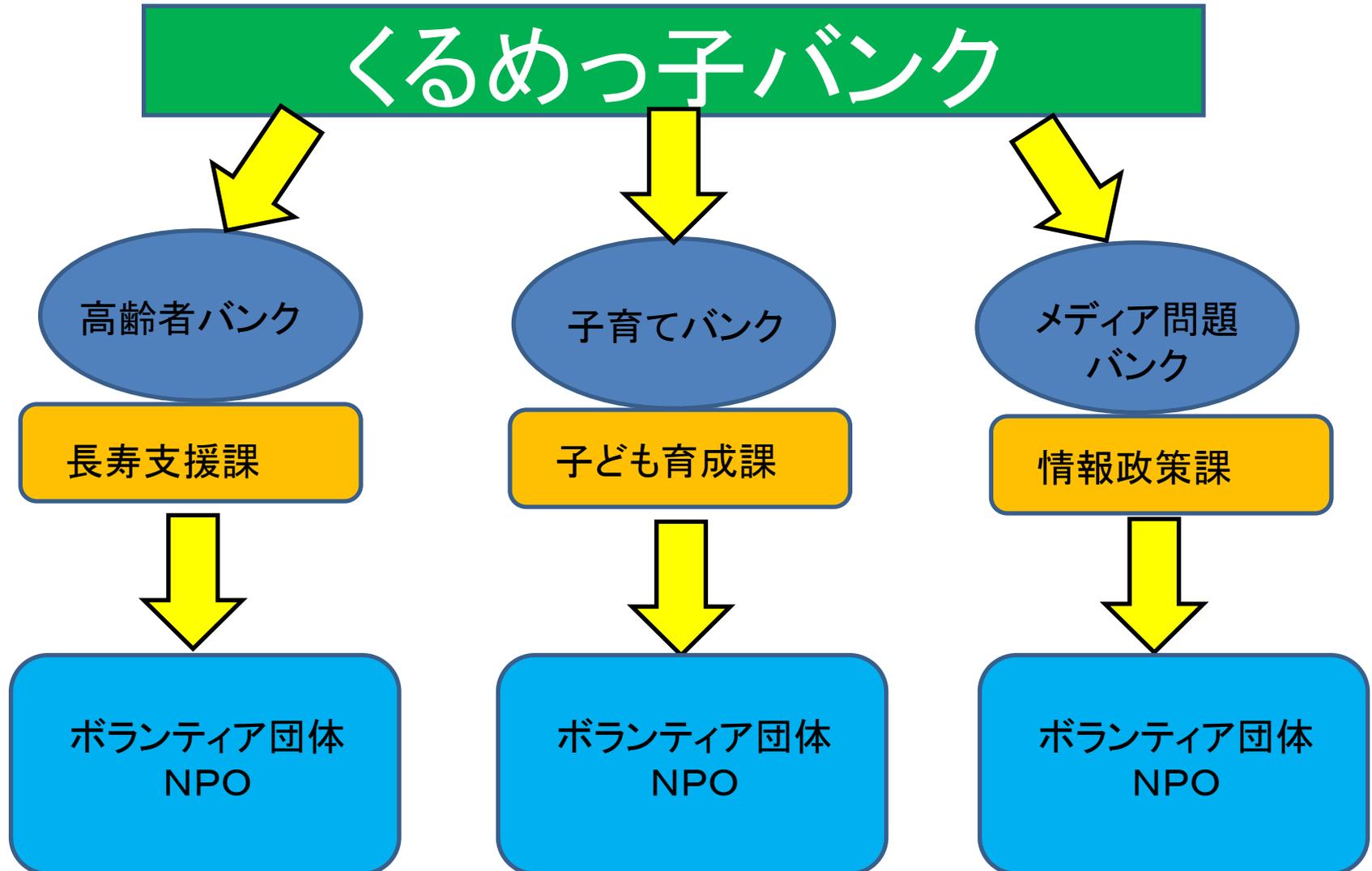


子育て支援コーディネーター
養成講座 修了証書

くるめっ子バンク

- 学校を支援する活動を提供できるボランティア団体やNPOを公募し公開審査の上、各テーマごとの「くるめっ子バンク」に登録する。
- 「くるめっ子バンク」は各テーマごとに担当課を決める。

くるめっ子バンクイメージ

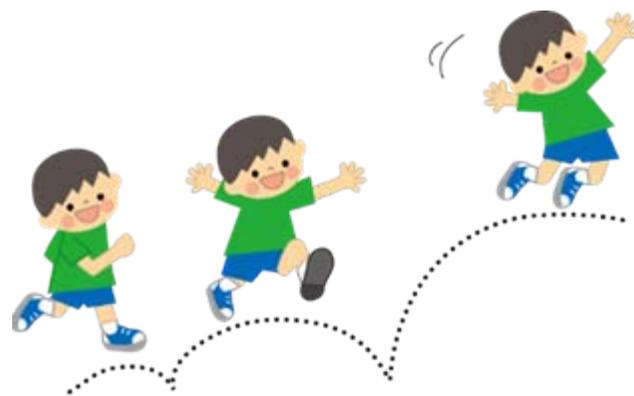


久留米市次期総合政策

協働ワーキング

「子育て支援」

子どもの成長を地域で支える仕組みづくり



【ワーキングメンバー】

岸田 兼一（チームリーダー）

杠 顕一郎、柴田 晃、柴原 美規

川野 寛史、坂井 輝久

現状・問題点

【地域における子育ての課題認識】

- 地域コミュニティ内の関係性が希薄化している。
- 居住地域において、子育て世代の親の活躍の場や交流の機会が少ない。
- 子どもにとって、信頼して相談できる相手（環境）が少ない。
- 子どもとの向き合い方に悩む大人が増えている。
- 子育て支援の情報やサービスが、それを必要とする親に届きにくい。
- 教育現場で、子ども一人ひとりに合わせた細やかなフォローが出来ておらず、学習意欲の低下や疎外感を感じる子どもが増えている。



【地域における子育て環境のあるべき（あって欲しい）姿】

- 地域における人間関係が緊密になる。（知り合いになる）
- 子育て中の親に、支援メニュー等に関する情報が容易に届く。
- 子どもたちが、身近な場所で、悩みや相談を気軽にできる。
- 子育て中の親が、子育てに関する悩みを気軽に相談できる。
- 子どもが多世代の人達と関わりを持ち、多様な価値観を習得する。
- 子どもを介して、親同士や多世代の人達に交流が生まれる。
- 校区コミュニティ施設に人が集まる。
- 地域住民が自治会に積極的に加入する。
- 子どもを持つ若い世代が、積極的に自治会活動に参加する。



提案する取り組み

【地域コミュニティ施設の子育て支援拠点化事業】

【事業の概要】



校区コミュニティ組織の加入非加入を問わず、校区内に点在する子育て支援を行っている各種団体の横断的組織「子育てネットワーク会議」を設立し、『子育て支援』『学習支援』『人材育成』の3つの視点から、地域との協働のもと、子育て支援事業を企画し、実施するモデル校区に対して、行政が財政的な支援を行う。



『子育てネットワーク会議』

地域コミュニティセンター
子育て支援拠点化事業



子ども一人ひとりの
成長に、多世代の
様々な人が関わる



多世代の人が子育てに
関わることで、
多様な価値観や健全な
心を育まれた子どもで
溢れる地域



子どもの成長を地域で支える仕組みづくり

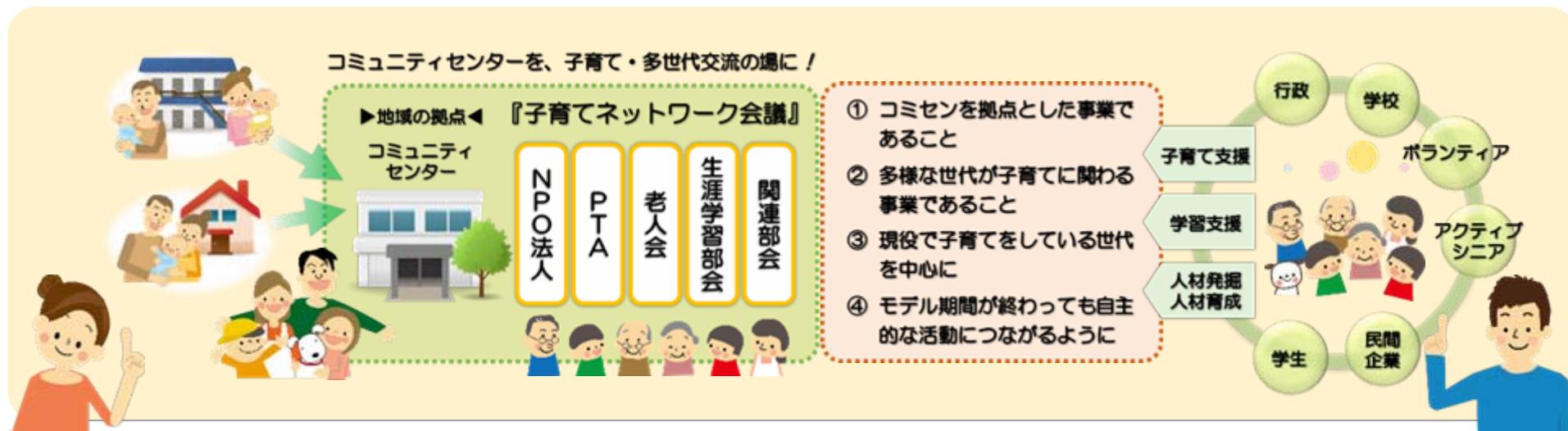
事業実施のねらい

- (1) モデル校区が子育てに関する多様な事業を実施することにより、多世代の大人が地域の子育てに関わり、子どもたちの社会性や地域への愛着感の育成を図ることを、第1のねらいとして実施する。
- (2) 事業の実施にあたり、コミュニティセンターという施設を拠点とすることで、センターを誰もが気軽に立ち寄れる場所に変え、子どもの育成を通じて多世代の人が交流できる環境を作り、地域活動に対して積極的とはいえない若い世代の事業参画を促し、コミュニティ組織の活性化についてもねらいの1つとしたい。



【モデル校区としての応募要件】

- 校区内で、子育てに関わる各種団体が、連携して地域の子育て支援に当たることを目的とした「横断的な組織」が設立されること。
- 組織設立にあたって、現役子育て世代が中心になり組織運営を担っていること。
(関係団体への所属の有無は問わない)



各主体の役割分担

市民

地域の絆を熟成させるために、早期から地域や住民と馴染むことを心がける。

- 実施される事業への積極的な参加、ボランティアスタッフとしての協力
- 事業への参加を通じて、地域との関係を密にしていく
- 地域内での呼びかけ、広報紙による報告



行政

地域住民が各事業参加や支援サービスを利用しやすい環境づくりを心がける。

- 補助制度の策定
- モデル事業期間を通じた課題の洗い出し、成功事例の分析等、事業の洗練化
- 市全域に対する広報活動



関係団体

子育てしやすい地域を実現するために、地域機能の充実化や拠点化を促進する体制づくりや子育て世代の声が反映される仕組みの構築を心がける。

◎ 校区コミュニティ組織



- 組織立ち上げの際の関係団体への呼びかけや、地域住民への周知、運営支援
- コミセンの貸出し
- コミセンを拠点とした事業なので、定例会議への出席などを通して、密な連携を図る



◎ 子育て支援関係団体

- 新組織における若い世代の役員選出
- 構成団体同士の活動趣旨・活動内容の知識を深め、連携して事業を行える体制整備



久留米市次期総合政策

協働ワーキング

「子育て支援」

子どもの成長を地域で支える仕組みづくり



【ワーキングメンバー】

岸田 兼一（チームリーダー）

杠 顕一郎、柴田 晃、柴原 美規

川野 寛史、坂井 輝久

魅力発信 ①

市民参画による久留米市の魅力発信の仕組みづくり

【テーマ性を持たせて、久留米の魅力を発信する】

ちやりんこレンジャー

リーダー : 川田 勝志

サブリーダー : 緒方 伸恵

メンバー : 隈 早苗・熊丸 智雄・眞子 佳子・松永 直子

筑後川

花(つつじ、つばき、バラ、菜の花)

自然

文化(石橋美術館、青木 繁、坂本 繁二郎)

高度医療

久留米の魅力

競輪・自転車

久留米餅

音楽の街(BS吹奏楽団、多くの合唱団)

ゴム産業

地酒

歴史

B級グルメ(ラーメン、焼き鳥、うどん)

などなど...



問題点

- ① 久留米は多くの魅力や宝があふれているが、生かされていない
- ② 久留米では多くのイベントや名所が互いに連携してPRしておらず、会場をつなぐ手段もない



「 自 転 車 」



かつては「三シャの街久留米」だった。



医者・芸者・**自転車**

三シャの1つである自転車は、久留米はゴム産業が盛んで、久留米競輪があることなどから、久留米を代表するものであった。

しかし

問題点

- ③ 久留米競輪やサイクルファミリーパークなど自転車関連施設の認知度が低い。

手軽な交通手段(交通渋滞緩和)

低価格

エコロジー

スポーツ競技としての魅力(オリンピック競技)

ファッショナブル

自転車の魅力

健康づくり

子どもから高齢者まで楽しめるレジャー

自転車産業(自転車部品、衣料品など関連産業も)

ウォーキング、ランニングに次ぐ第3のブーム



サイクリング



久留米の魅力

×

自転車の魅力



新しい久留米の魅力

提案分野

自転車活用による、久留米の魅力UP
～自転車でつなぐ、広がる久留米の魅力～

達成を目指す姿・状況

「自転車の街・久留米」をPRすることで、久留米の知名度と好感度を高め、交流人口を増やし「日本一住みやすい街」を目指す



提案する取り組み(事業)

2つの事業を提案

① 季節イベント型事業
「ツール・ド・久留米」の開催

② 通年型事業
「春夏秋冬 くるめチャリ旅」の実施



〈参考〉2014年度イメージイラスト K.タエコ作

1つ目の提案事業：

①季節イベント型事業 「ツール・ド・久留米」の開催

事業の目的

- ・“自転車街・久留米”を広くPRすることで、久留米の知名度と好感度を高める。
- ・自転車メーカーや地元業者と連携し、自転車の魅力を伝える。
- ・他のイベントとコラボレーションし、自転車利用の促進、市内の回遊性の向上を目指す。

日程

11月上旬の(土)、(日) 2日間

出発地及びイベント会場

久留米百年公園及びリサーチパーク展示場

事業内容

「ツール・ド・久留米」

初級・中級・上級者向けの各コースの自転車レース。
初級・中級は競輪選手(元選手)も並走。



○初級コース

筑後川沿いコース

○中級コース

筑後川～草野街道コース

○上級コース

筑後川～耳納連山コース

2014.9.14 11:52

ツール・ド・東北2014 復興願い3千人疾走 ケネディ大使も

記事本文へ



宮城県沿岸部の被災地を自転車で走るイベント「ツール・ド・東北2014」の休憩所で、地元の女性と握手するケネディ駐日米大使 = 14日午前、宮城県女川町

2014.9.14「産経ニュース」デジタル版よ

り

「サイクルフェスタ」（同時開催イベント）

①おもしろ自転車レース

サイクルファミリーパークのおもしろ自転車を利用した、子どもから大人まで楽しめる自由参加型のレース。

②自転車展示会&試乗会&自転車オークション

自転車メーカー及び市内自転車店による最新型自転車や、人気の高い自転車等の展示会。
試乗会やオークションも実施。

③競輪選手等トークショー

オリンピック選手、有名競輪選手などによるトークショー。

④自転車ファッションショー

自転車レース・サイクリングをテーマにした市民参加型のファッションショー。

⑤自転車健康教室

健康・美脚になるサイクリング法など、自転車をもたらす体に良い様々な効果を紹介。

埼玉県上尾市 スマート・サイクル☆フェスタ

ブリヂストンサイクルの本
社がある上尾市では、
産・学・官と市民団体が自転
車を生かしたまちづくりとし
て、自転車イベントを開催。

平成26年
日時 **3月8日(土)**
荒天の場合は3月9日(日)に順延
9:30~15:30
会場 **上尾丸山公園**
多目的広場

入場無料

自転車のまち“あげお”
**スマート
サイクル☆
フェスタ**

～夢の“じてんしゃパーク”～

家族が
幸せになる♡イベントいっぱい♡

サイクル☆スタンプラリー! 参加費無料
初心者でも安心“選べる3コース”で早春の上尾を満喫しよう

- ① 3つ以上のスタンプを集めた方に**参加賞プレゼント!**
- ② 各スタンプポイントでも**お楽しみあり!**
- ③ スマホで写真を撮るアプリとさらに**プレゼントのチャンス**

来場者プレゼント!
おしゃれで人気の“ブリヂストン”
自転車が2名様に当たる!

レンタサイクルもあります(無料、台数に限りがあります)

上尾サイクリングロード

根本牧場

丸本莉子ライブ!
レコード大賞
インディーズデビュー1年で
異例の展開!
LOVE bicycle SAITAMA テーマソングを歌う!

初めてのスポーツサイクル体験試乗会
「スポーツサイクルってこんなに
軽い!早い!楽しい!」がわかる!
by ブリヂストンサイクル

ポタガール埼玉トークショー
「自転車って楽しい!」
自転車をはじめてあなたへ
自転車女子からのステキな“メッセージ”

Cycle グルメフェスタ&展示・物産販売
サイクリングしながら食べてみたい、うまいもの集結!

初めての自転車乗り方教室
補助輪外して**自転車デビュー!**ママもパパも安心!
ジュニア自転車教室ワイヤースクール
小学生向け・ルールとマナーと乗り方覚える2クラス!
こぐまの自転車マナー教室
かわいいアニメで覚える自転車のルール&マナー

“久留米自転車の日”コラボイベント

「ツール・ド・久留米」開催日を“自転車の日”と設定。
他のイベントとのコラボレーションを提案。

「くるめ街かど音楽祭」

Kurume Promenade Music Festival 2013

くるめ街かど音楽祭

2013

歴史と芸術のプロムナードに音楽があふれる2日間

10.26 [sat] 10.27 [sun]

日程表:

10.26	10.26	10.26	10.26	10.26	10.26
10.27	10.27	10.27	10.27	10.27	10.27

主催: 公益財団法人 久留米文化振興会 (石橋文化センター)

〒839-0862 久留米市野中町1015 TEL.0942-33-2271 月曜休館 (祝日の場合は変更)

http://www.ishibashi-bunka.jp

「草野まちかど博物館」

みどりの里・耳納風原街道の街

第20回 草野まちかど博物館

秘蔵の美術品を展示公開

平成26年 11月2日(土)・3日(日)

午前10時~午後4時

久留米市草野町各所

入場無料

草野町の「伝統的町並み保存地区」を中心に、草野町の有志により、江戸時代~大正時代に建築された家屋を開放し、貴重な美術・文化資料を展示することにより、多くの人に素晴らしい地域文化と歴史を知っていただければ幸いです。

【出展 展覧会】を掲載

日	平成26年11月2日(土) 10時30分より受付
集合場所	草野町区民庁公民館(西側)C125番 実作/公民館下庫
内 容	① 展覧 1,000円(含消費税) ② 音楽 受付後無料演奏~実作公民館前、神楽など ③ 例会 12時 実作公民館にて ④ 夕食 13時 同上

草野町のとっておきの見どころを地元ガイドがご案内します。

コース	集合場所	所要時間	所要料
町並み歴史散策コース	実作	10時	無料
自然散策コース	実作公民館	13時	約2時間30分
歴史散策コース	歴史散策コース		

【主催】草野まちかど博物館実行委員会(草野町区コミュニティセンター内) TEL.0942-47-0002(FAX共通)

URL: http://www.100n.net.jp/kusano/ E-mail: kusano.09@gee.ocn.ne.jp

〒839-0862 久留米市草野町1015 TEL.0942-47-3015

【主催】久留米市(公財)久留米観光コンベンション国際交流協会・久留米市教育委員会

“久留米自転車の日”コラボイベント

「ツール・ド・久留米」開催日を“自転車の日”と設定。

複数のコンサート会場や店舗、施設をめぐる

「くるめ街かど音楽祭」

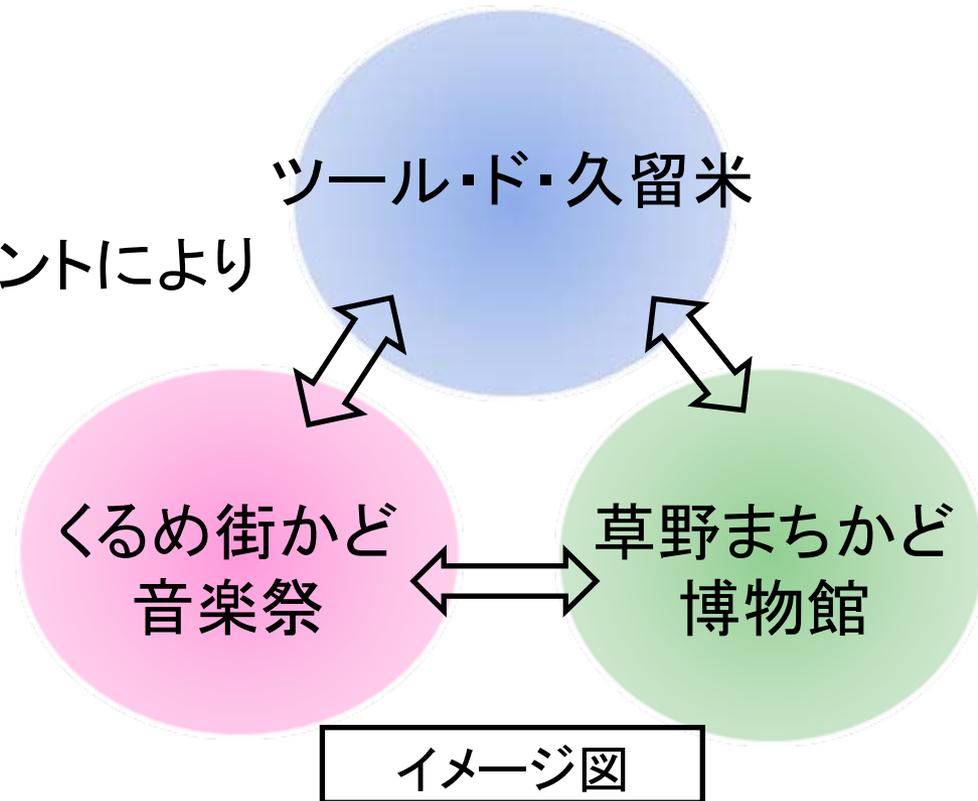
「草野まちかど博物館」

自転車移動が最適



同日開催のコラボレーションイベントにより

- ・相互PRによる参加者の増加
- ・自転車活用による市内の回遊性の向上



2つ目の提案事業：

②通年型事業 「春夏秋冬 くるめチャリ旅」の実施

事業の目的

久留米の自然や歴史、文化、グルメ、季節イベント等を自転車で巡る「チャリ旅マップ」を作成し、四季折々の久留米の魅力をPR。

モデルコースを設定し、楽しみながら気軽に移動できる自転車の魅力を伝え、市内の回遊性を高める。

自転車マップ掲載内容

- ・サイクリングモデルコース
 - ・レンタサイクル拠点
 - ・自転車店(修理など)
 - ・お土産品店(地場産商品など)
 - ・グルメ(美味しい店)
 - ・イベントカレンダー
 - ・名所(花、神社仏閣、史跡、文化施設、レジャー施設など)
 - ・休憩ポイント(無料休憩所、コンビニ、公園など)
- * 競輪・サイクルファミリーパーク等のイベント、市内各地の祭り・イベントなど

応募型付随企画

①サイクリングスタンプラリー

チャリ旅マップ上のチェックポイントで、スタンプを集めて応募すると、久留米の魅力グッズを抽選でプレゼント

②チャリ旅 俳句・写真募集

自転車の旅や久留米の街の魅力をテーマにした俳句及び写真を募集し、応募作品の中から優秀作品には久留米の魅力グッズをプレゼント。

優秀作品は市内の施設やイベント会場で展示するほか、ホームページ等でも紹介する。



モデルコース(案)

① つつじとバラとグルメめぐり 〈春〉

百年公園サイクリングセンター ⇒ つつじまつり ⇒ 五穀神社 ⇒ 大砲ラーメン本店 ⇒
バラフェア ⇒ 銀のすぷーん ⇒ 百年公園サイクリングセンター

② 旬の巨峰狩りとアスレチックを満喫 〈夏〉

JR田主丸駅 ⇒ 石垣山観音寺 ⇒ トリムパーク ⇒ 巨峰ワイン ⇒ 巨峰狩り ⇒
樹蘭 ⇒ JR田主丸駅

③ 初秋の善導寺界限と北野コスモス街道をゆく 〈秋〉

ふれあい農業公園 ⇒ 善導寺 ⇒ 大城橋 ⇒ 北野天満宮 ⇒ 庭の鶯酒 ⇒
コスモス街道 ⇒ 宮の陣 ⇒ 百年公園サイクリングセンター

④ ツバキ鑑賞と草野の町並みめぐり 〈冬～春〉

山辺道文化会館 ⇒ 久留米市世界のつばき館 ⇒ 矢作町並み散策 ⇒
久留米つばき園 ⇒ 食事処なかの ⇒ 草野歴史資料館 ⇒ 須佐能袁神社 ⇒
草野町並み保存地区散策 ⇒ ギャラリー山帰来 ⇒ 山辺道文化会館

取組を進める上での役割分担



イメージ図

「自転車の街づくり実行委員会 又は事務局(仮)」

- ・イベントの参加者募集、実施
- ・ルート、マップ作成など

関係団体等

市民

- ・イベントの運営補助等
- ・ボランティア

行政

- ・事業への予算補助
- ・施設・会場の提供、行政手続き
- ・イベント間の調整、プロモーション活動等

期待される効果

- ①全国からの集客が期待できるコンベンション
- ②「自転車の街・久留米」が定着。知名度と高感度の向上
- ③名所、イベント間の回遊性の向上。新たな名所・宝の発掘
- ④グルメ情報の充実
- ⑤市民の健康意識の向上
- ⑥市内自転車関連事業の活性化
- ⑦地場産業とのコラボレーション
(自転車 × ゴム・靴メーカー、絣・繊維産業など)
- ⑧競輪事業の理解促進 → 競輪事業の収益向上
⇒「自転車の街」づくりの設備投資や事業充実のための財源へ

“自転車街・久留米”に向けた課題

①サイクリングロード及び駐輪場等のインフラ整備

②レンタサイクルの利便性向上

- ・レンタサイクル拠点の増加。拠点間は乗り捨て可能に
- ・自転車保有台数増加と車種の充実(電動自転車など)

③他の交通機関との連携

- ・「レール&サイクル」「バス&サイクル」「パーク(自家用車)&サイクル」等、レンタサイクル拠点までの交通手段の提案

④市内自転車店との連携

- ・自転車店を“街のチャリステーション”に
↳ 休憩所、カフェ機能も

⑤久留米競輪との連携

- ・久留米競輪場を多世代が楽しめるレジャー施設に
→ サイクルファミリーパークとの連携強化

⑥市民ボランティアの育成(マップ作り、イベント補助など)

⑦自転車愛好家が集う交流の場づくり

久留米にはいろいろな魅力が溢れている

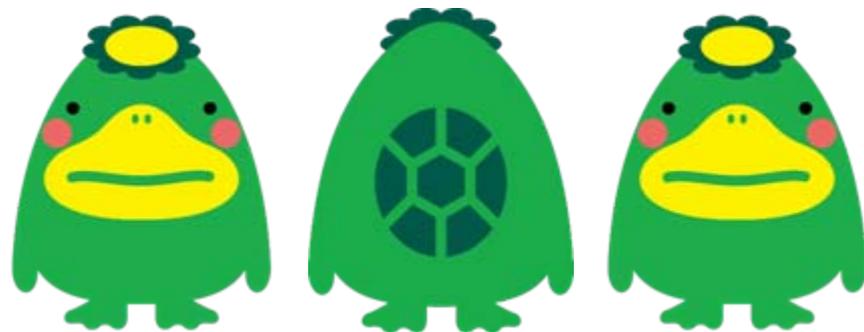


「自転車の街・久留米」が
久留米の魅力を表す新機軸となり

「日本一住みやすい街」

となることを期待

ご清聴ありがとうございました。



市民参画による まちの魅力発信の仕組み

～主役は「市民記者」
まちの話題づくりの仕掛け～

提案グループ:「(仮称)マーガレット」

メンバー: 矢次恵美子、木本洋輔、
半田啓祐、中園健太、秋山太

情報発信の今は・・・??

- ① 市役所→市民・市外在住者など一方向
- ② 市民が持っている情報を生かしていない
- ③ 行政が行う発信には制約がある
- ④ 効果的なツールは、日々流動的

キーワード

市民が持つ力を効果的に

- 「力」=鮮度の良い情報
- 「効果的」=何を使って、どう継続していくか



これまでの情報発信に加えて

新しい手法を提案

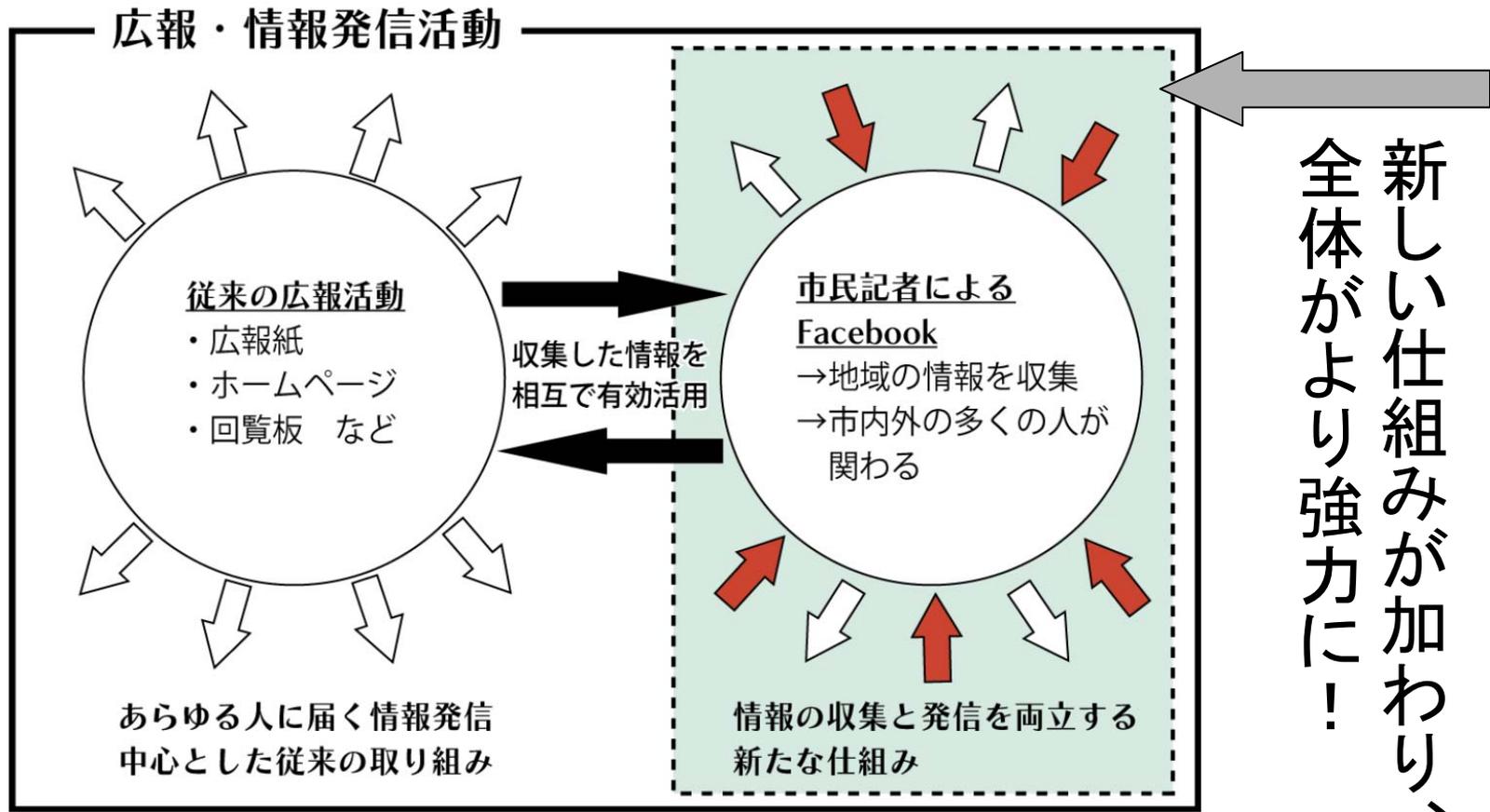
WEB環境を活用した 市民主体の情報発信の場づくり

- フェイスブックを活用
- 「市民記者」が主役
- ページの運営を関係団体へ委託
- 市民・関係団体・行政で「検討組織」を設立し、効果的に運営



←詳しくは配布資料をご覧ください

広報・情報発信がこうなる!!!



ここがポイント！！

① 簡単に登録！「市民記者」

→FBページに「いいね！」を押すだけ

② ページの運営を専門団体に！

→観光・グルメ・音楽・歴史など、ジャンルごとに立ち上げたFBページの運営は、そのジャンルに精通した団体に委託。

③ 「広告代理店」的な組織を設立

→検討組織で、効率的な仕組みをキープ

こうなると、より**いいね!**

◎市民一人ひとりが旬な情報を発信◎



◎「ここで久留米が分かる」と思われる◎



◎まちで盛り上がり生まれる◎



◎「次は自分が！！」発信したくなる！！◎



HAPPY!
KURUME!

市民参画による久留米市の 魅力発信の仕組みづくり

～多様な**主体**が魅力を発信する～

メンバー

大塚	美樹	(リーダー)
京野	利勇	(サブリーダー)
廣岡	睦	
野村	真弓	
山浦	芳樹	

平成26年10月11日



ほとめきの街

久留米

現状・問題点

- ◇ 若者は様々な情報ツールを使いこなしているが、そもそも久留米市に愛着が薄いので、久留米の情報を外に発信しようと思わない。
- ◇ 多くの知識を持っていて、情報を発信したいと思っている人は多いが、様々なツールが多すぎて着いて行けない。



提案分野

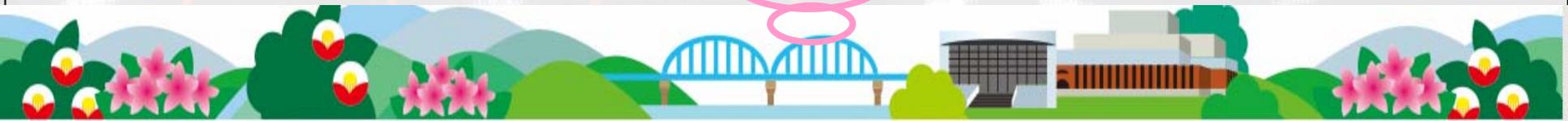
- ◇ 発信力の強い若者が、“市”に興味を持つ仕掛けづくり
- ◇ 機械に不慣れな人も情報発信できる仕組みづくり



達成を目指す姿

誰もがまちの魅力を発信できる場に、

身近にアクセスできる久留米市



提案する取り組み

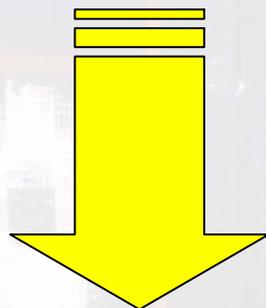
久留米の魅力に

「気づく・共に伝える」

取り組み内容

《 Step 1 》 若者の興味心向上に向けた取り組み

3事業の提案

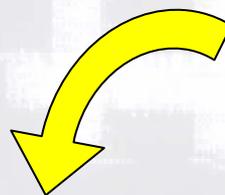


《 Step 2 》 オール市民による情報発信の取り組み

4事業の提案

《 Step 1 》 若者の興味心向上にむけた取組み①

◇学校・民間施設に広報紙、PRポスターを設置



《Step 1》若者の興味心向上にむけた取組み①

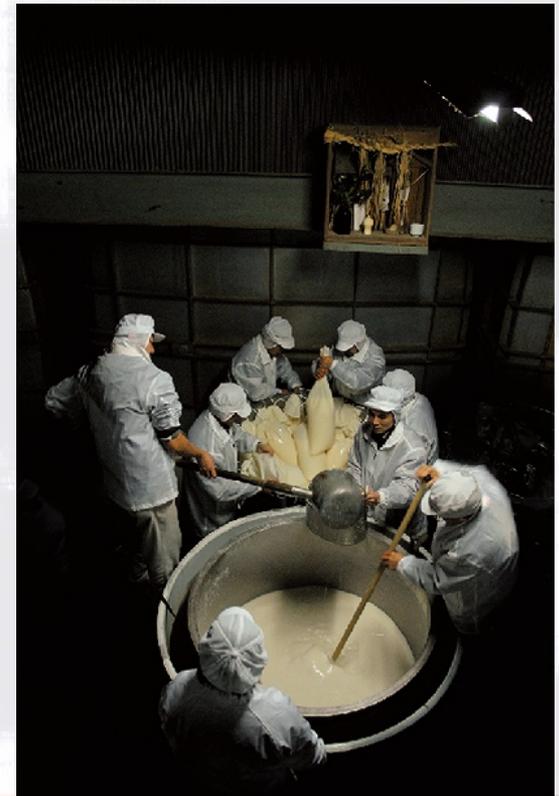
◇学園祭への積極的な参加



《Step 1》若者の興味心向上にむけた取組み②

◇教育向け体験交流型研修メニューの造成

◇地場企業インターンシッププログラムの造成



ほとめきの街 久留米

《Step1》若者の興味心向上にむけた取組み②

◇教育向け体験交流型研修メニューの造成

焼きとりのまち
久留米の職人に学ぶ

“焼きとり”と
“にわとり”が
よくわかる講座



その道ウン十年のプロが教える久留米名物焼きとりの申打ち・焼き・試食ができる「焼きとり体験講座」です。特別公開の食鳥処理工場内では、職人さんによる鶏のさばき方実演も。唐揚げ、炭火焼など“はかた地どり”のお昼ごはん付き。

- 集合場所・会場 農事総合法人福栄組合 (久留米市北野町高良 1369-3)
- 料金 中学生以上 2,000 円、小学生 1,000 円
- 定員 10 名(最少催行人数 5 名)
- 所要時間 約 3 時間 ※汚れてもいい服、エプロン、三角巾持参。未就学児の参加は要相談。
- 予約 実施日の 1 週間前までに要予約

いつも入れない世界企業の舞台へ

世界のブリヂストン
社長室から社食まで
特別な社会科見学

リニューアルしたブリヂストンの久留米工場を見学します。1931年に久留米で創業したブリヂストンの創業当時の社長室や歴史をたどる展示スペース、専用デッキからの工場見学など、世界のブリヂストンを身近に感じることができる機会です。また、見学後には工場内の社員食堂で昼食を頂くという、いつもは体験できない貴重なプログラムです。

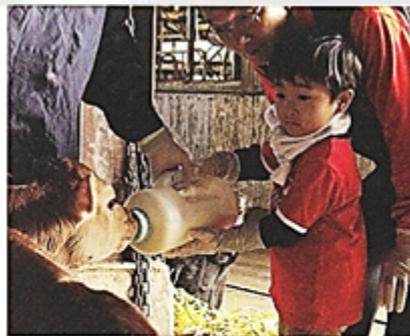
- 集合場所・会場/ブリヂストン久留米工場 所在地/久留米市京町 105
MAP p27-d-4 (詳細) 料金/900 円(社食付) 定員/各 30 名
所要時間/約 2 時間半 ※駐車場がありませんので公共交通機関でお越しください。
食事は全員定食で同じメニューです。
● 予約先/実施日の 1 週間前までに要予約
久留米まち旅博覧会事務局 ☎0942-31-1730



北野町で美味しい牛乳の秘密を知る

森光牧場で
酪農体験&青空カフェ

美味しい牛乳づくりにこだわっている森光牧場でえさやり体験、乳搾り体験、仔牛授乳体験など酪農家体験をしてみませんか。可愛い牛たちに見つめられると心癒されます。ランチは、森光牧場の美味しい牛乳とジェラート、田主丸のパン屋「シェ・サガラ」のパンにこだわりのソーセージをはさんだホットドックを、青空の下で元気にいただきましょう。



- 集合場所・会場/森光牧場 アクセス/久留米市北野町金島 1708-1 MAP p39-g-3
料金/大人 2,000 円(ホットドッグ・ジェラート付)、子ども 800 円(小学生) 定員/20 名 所要時間/約 3 時間半
※ホットドッグ、ジェラートの販売もあります。

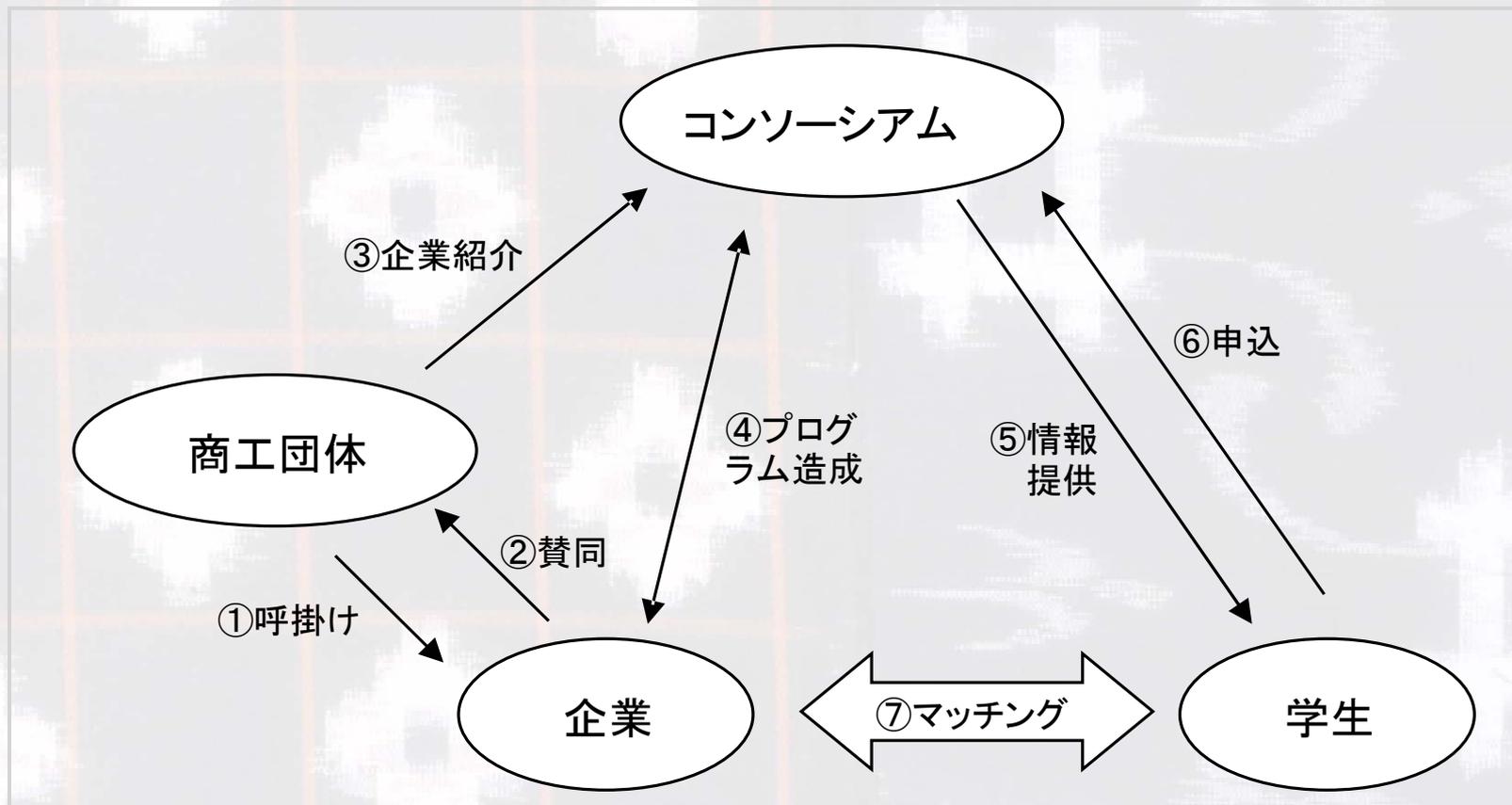
- 予約先 久留米まち旅博覧会事務局 ☎0942-31-1730 実施日の3日前までに要予約

※プログラムは、久留米まち旅博覧会より抜粋

ほとめきの街 久留米

《Step1》若者の興味心向上にむけた取組み②

◇地場企業インターンシッププログラムの造成

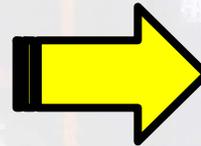


《Step 1》若者の興味心向上に向けた取組み③

◇地域行事の安定的運営のための人材支援登録サイト「お祭りBANK」創設

	月	火	水	木	金	土	日
9 月	1	2	3	4	5	6	7 〇〇祭り
	8	9 ■■祭	10	11	12 ▲▲花火	13	14 ▲▲大会
	15	16	17 ××大会	18	19	20	21 〇〇フェスタ
	22	23	24	25	26	27 ■■踊り	28
	29 ▲▲まつり	30					

選択!



支援内容：神輿の担ぎ手

時間：13時～19時

必要人数：10人（残り4人）

行事内容：S30年に復活した伝統行事。200人の行列が無病息災を願って町内を神輿とともに廻る。

写真：こちらをクリック

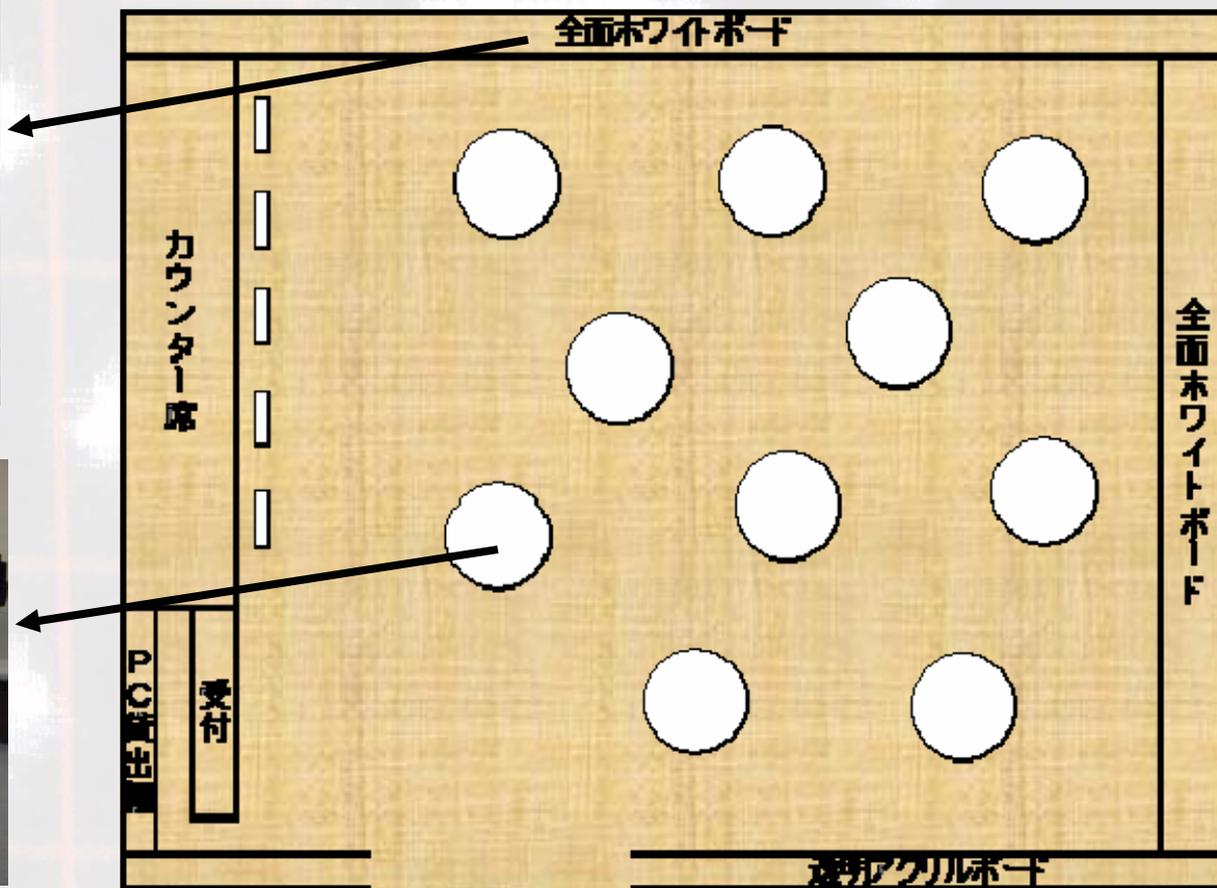
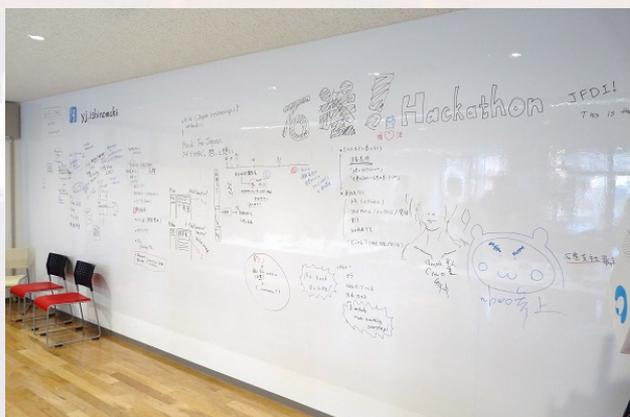
ほとめき：地元の食材を使った夕飯の提供



久留米

《Step2》オール市民による情報発信の取組み①

◇地域活動サポートセンター「みんくる」を情報発信拠点として活用



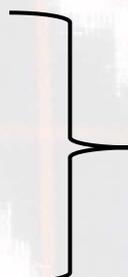
《Step2》オール市民による情報発信の取組み②

◇学生による『久留米ガイドブック』の制作発行

市内5高等教育機関

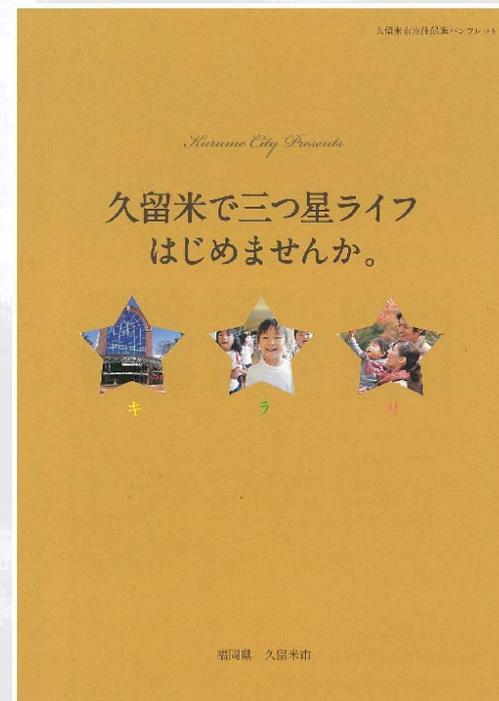


学生による実行委員会結成



企画
取材
編集

ガイドブック発行（年1回）



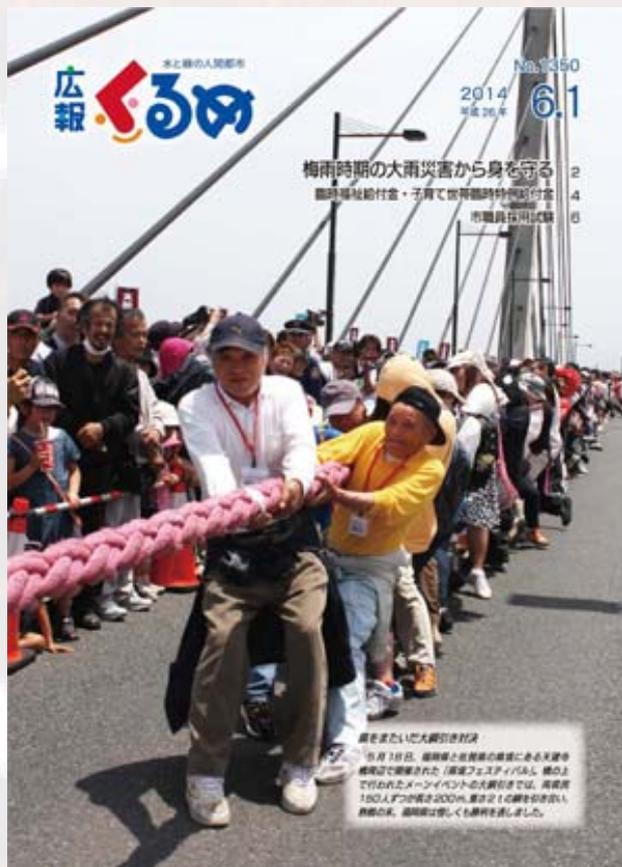
※現行の定住促進パンフレット

ほとめきの街

久留米

《Step2》オール市民による情報発信の取組み③

◇『広報くるめ』に市民企画ページを創設



留米

《Step2》オール市民による情報発信の取組み④

◇情報発信大使による旬な久留米の魅力発信



ほとめきの街

久留米

結びに



ほとめきの街 久留米

お礼



ご清聴ありがとうございました。